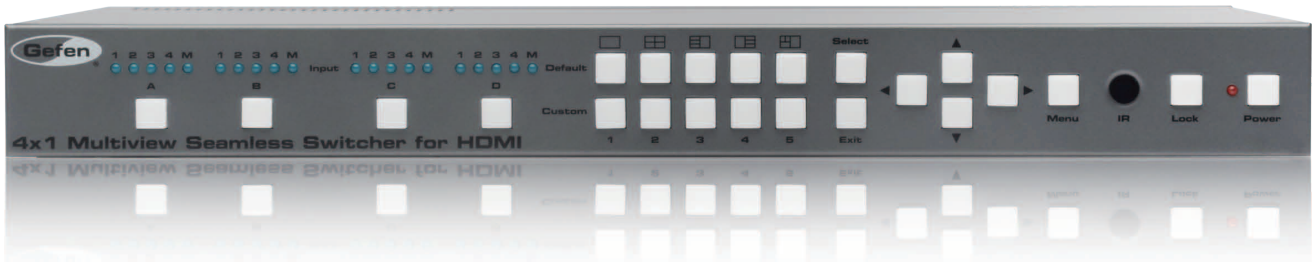
4x1 Multiview Seamless Switcher

４ × １ マルチビュー HDMI シームレス切替機

型番：EXT-HD-MVSL-441

取扱説明書



2014 年 7 月版

◆はじめに

■安全上の注意

この度は Gefen 製品をお買いあげいただき、ありがとうございます。機器のセッティングを行う前に、この取扱説明書を十分にお読みください。この説明書には取り扱い上の注意や、購入された製品を最適にお使いいただくための手順が記載されています。長くご愛用いただくため、製品のパッケージと取扱説明書を保存してください。

●注意事項は危険や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った扱いをすると生じることが想定される内容を次の定義のように「警告」「注意」の二つに区分しています。

⚠ 警告 この表示内容を無視して誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

- 必ず付属の電源アダプター、電源ケーブルを使用してください。これ以外の物を使用すると火災の原因となり大変危険です。また、付属の電源アダプター、電源ケーブルを他の製品で使用しないでください。
- AC100V、50Hz/60Hz の電源で使用してください。異なる電源で使用すると火災や感電の原因となります。
- 分解や改造は行わないでください。分解や改造は保証期間内でも保証の対象外となるばかりでなく、火災や感電の原因となり危険です。
- 雷が鳴り出したら、金属部分や電源プラグには触れないでください。感電する恐れがあります。
- 煙が出る、異臭がする、水や異物が入った、本体や電源ケーブル・プラグが破損した等の異常があるときは、ただちに電源を切って電源プラグをコンセントから抜き、修理を依頼してください。異常状態のまま使用すると、火災や感電の原因となります。

⚠ 注意 この表示内容を無視して誤った取り扱いをすると、傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容です。

- 万一、落としたり破損が生じた場合は、そのまま使用せずに修理を依頼してください。そのまま使用すると、火災の原因となることがあります。
- 以下のような場所には設置しないでください。
  直射日光の当たる場所 / 極度の低温または高温の場所 / 湿気の多い場所 / ほこりの多い場所 / 振動の多い場所 / 風通しの悪い場所
- 配線は電源を切ってから行ってください。電源を入れたまま配線すると、感電する恐れがあります。また、誤配線によるショート等は火災の原因となります。
- ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。
- 廃棄は専門業者に依頼してください。燃やすと化学物質などで健康を損ねたり火災などの原因となります。

■製品の特長

- 4 入力 1 出力のシームレス切替機。
- 4 系統の HD 入力をひとつの HDTV 表示機器で同時に表示。
- 画面サイズ調整やスケーリングは個別に調整可能。
- 最大対応解像度は 1080p フル HD、1920x1200(WUXGA)。
- HDCP に準拠。
- 遅延やフレームロスなく、シームレスに切替可能。
- 単画面構成を含む 5 種類の標準ウインドウ構成を提供する 5 個のデフォルトプリセットスイッチのほか、ユーザー設定の保存 / 呼び出しが可能なカスタムプリセットスイッチを 5 個装備。
- ウェブサーバーインターフェースまたは USB 経由でファームウェアのフィールドアップグレードが可能。
- 使い易いオンスクリーンメニューとウェブサーバーインターフェイス。
- IR コントロール端子を搭載しており、IR リモコンが付属。
- ロック式電源。
- ラックマウント金具付属。1U サイズ。

■梱包内容の確認

万が一足りないものがありましたら、購入された販売店までご連絡ください。

- 本体× 1
- HDMI ケーブル (1.8m、ロック式) × 4
- D-Sub9 ピンケーブル (1.8m) × 1
- IR 延長受光部 (EXT-RMT-EXTIRN) × 1
- IR リモコン× 1
- ラックマウント金具一式
- 電源アダプター (ロック式) × 1

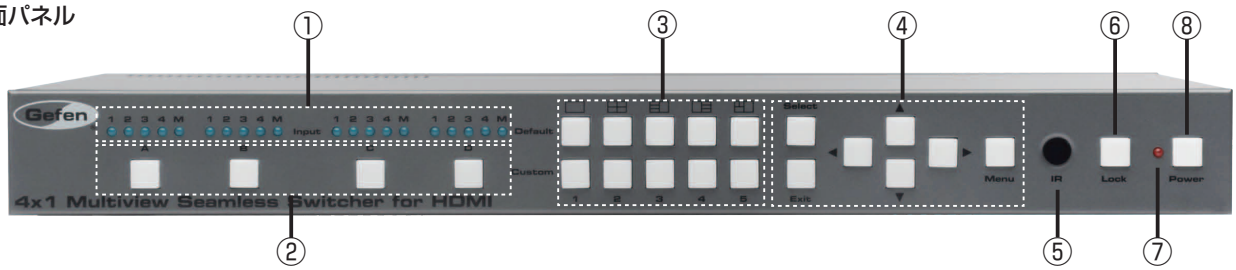
■目次

◆はじめに 2
■安全上の注意
■製品の特長
■梱包内容の確認
■目次 3
◆各部の名称と機能 4
■本体
●前面
●背面
■IR リモコン 5
●前面
●背面
●電池交換 6
●チャンネル設定
■接続
◆操作方法 7
■はじめに
●スタンバイモード
●本体の電源をONにする
■ウインドウの基本
●ウインドウ構成の選択
●シングルウインドウについて 8
●ルーティングステータスの変更
(シングルウインドウ) 9
●マルチウインドウについて 10
●出力のマスキング/マスキング解除 12
●ウインドウの順序 13
●ウインドウの順序を指定する
■ビデオエフェクト 14
●フェード
●クロマキー
●ミラー 15
■本体のロック/ロック解除 16
●前面パネルスイッチによる操作
●IRリモコンによる操作
■IR延長器の使用 17
■メニューシステム 18
●メニューシステムへのアクセス
●出力解像度の設定 20
●輝度の調整
●コントラストの調整 21
●サチュレーションの調整 22
●色合いの調整
●OSDの設定 23
▼Info Display
▼H Offset
▼V Offset
▼Timeout
●EDIDマネージメント 24
▼EDIDの選択
●ミラー
●フェードイン/アウト 25
●クロマキー 26
●IP設定の変更
●Telnet設定の変更 27
●UDP設定の変更 28
●システム設定
◆高度な操作 29
■RS-232とIPの構成
●RS-232インターフェイス
●RS-232 の設定
●IP/UDPの構成
■コマンド一覧 30
●#chromakey 31
●#chromakey_color
●#display_telnet_welcome
●#fade
●#fadefault
●#help
●#lock_aspect
●#lock_edid
●#mask
●#mirror
●#mute
●#power 32
●#reboot
●#recall_preset
●#rotate
●#save_preset 1
●#set_bank_name
●#set_brightness
●#set_contrast
●#set_edid
●#set_gateway
●#set_hdcp
●#set_hposition 33
●#set_hsize
●#set_http_port
●#set_hue
●#set_ipadd
●#set_ipmode
●#set_ir
●#set_netmask
●#set_osd
●#set_output
●#set_preset_name 34
●#set_priority
●#set_saturation
●#set_tcp_user
●#set_telnet_pass
●#set_telnet_port
●#set_udp_port
●#set_udp_remote_ip
●#set_udp_remote_port
●#set_vposition
●#set_vsize
●#set_webui_ad_pass 35
●#set_webui_op_pass
●#show_bank_name
●#show_brightness
●#show_chromakey_color
●#show_contrast
●#show_gateway
●#show_hdcp
●#show_http_port
●#show_hue
●#show_ip
●#show_ipconfig
●#show_ipmode 36
●#show_ir
●#show_mac_addr
●#show_netmask
●#show_osd
●#show_output
●#show_power
●#show_preset_name
●#show_saturation
●#show_tcp_access
●#show_telnet_port
●#show_udp_port
●#show_udp_remote_ip
●#show_udp_remote_port 37
●#show_ver_data
●#unmask
●#use_tcp_access
●#use_telnet_pass
●#use_udp_access
●m
●r
●s
■ウェブインターフェース 38
●内蔵ウェブインターフェース の使用
●Routing
●Presets 44
●EDID⇒Assign 45
●EDID⇒Bank Name 47
●EDID⇒Upload/Download
●Network 48
●System 50
◆付録 51
■ファームウェアのアップグレード
■仕様

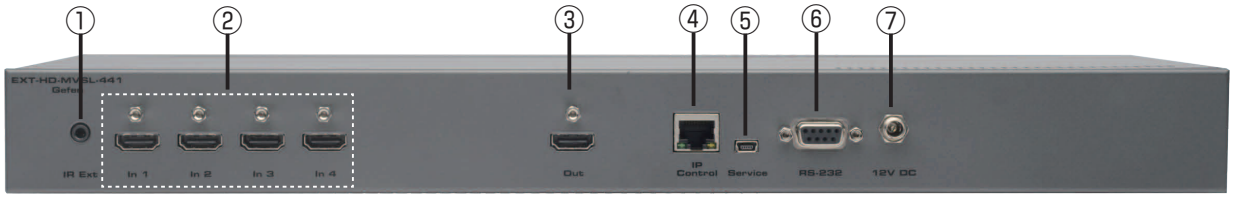
◆各部の名称と機能

■本体

●前面パネル



① Input : 入力インジケーター	各入力のステータスを表示します。詳しくは 7 ページ「■ウインドウの基本」を参照してください。
②ウインドウスイッチ (A ～ D)	1 画面に最大 4 つのウインドウを表示します。
③プリセットスイッチ	ウインドウ構成を選択します。5 個のデフォルトプリセット (Default) と 5 個のユーザープリセットがあります。詳しくは 7 ページ「ウインドウの基本 」を参照してください。
④メニューシステム操作スイッチ	内蔵メニューシステムの設定を選択 / 変更します。詳しくは 18 ページ「■メニューシステム」を参照してください。
⑤ IR	付属の IR リモコンからの IR 信号を受信します。
⑥ Lock : ロックスイッチ	本体をロックします。詳しくは 16 ページ「■本体のロック / ロック解除」を参照してください。
⑦スタンバイ LED インジケーター	電源アダプターを接続した通電状態で、スタンバイモードの時に点灯します。
⑧ Power : 電源スイッチ	本体の電源を ON/OFF します。電源 ON の時に点灯します。

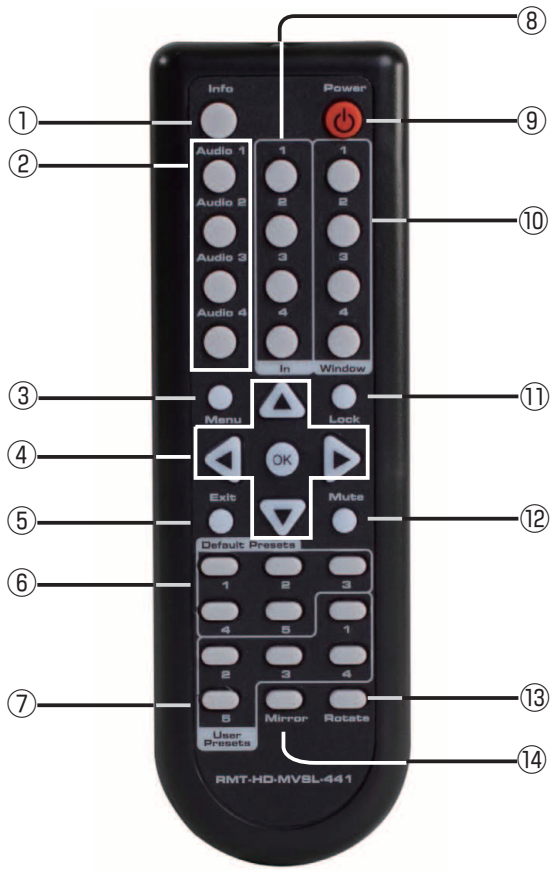


●背面パネル

① IR Ext : IR 延長端子	付属の IR 延長受光部 (EXT-RMT-EXTIRN) を接続します。
② In 1 ～ In 4 : HDMI 入力端子	HDMI ケーブルを使用して最大 4 系統の HD ソース機器を接続します。
③ HDMI Out : HDMI 出力端子	HDMI ケーブルを使用して HD 表示機器を接続します。
④ IP Cont. : IP コントロールポート	イーサネットケーブルを使用してローカルエリアネットワーク (LAN) に接続します (IP 制御)。詳しくは 29 ページ「■ RS-232 と IP の構成」を参照してください。
⑤ USB : USB 端子	ファームウェアのアップグレードに使用します。詳しくは 51 ページ「■ファームウェアのアップグレード」を参照してください。
⑥ RS-232 : RS-232 端子	RS-232 ケーブルを使用して RS-232 機器を接続します。詳しくは 29 ページ「■ RS-232 と IP の構成」を参照してください。
⑦ 12V DC : 電源端子	付属の電源アダプターを接続します。ロック式端子の締めすぎにご注意ください。

■ IR リモコン

●前面



●背面

① Info ボタン	出力の情報を表示します。
② Audio(1 ～ 4) : オーディオソース切替ボタン	出力するオーディオソース機器を選択します。
③ Menu : メニューボタン	内蔵のメニューシステムを呼び出します。
④ ◀ ▶ ▲▼ OK ボタン	メニューシステムの機能へのアクセス、変更に使用します。矢印ボタンでメニューの切り替えや値の変更を行います。OK ボタンで選択項目を確定します。
⑤ Exit ボタン	メインメニューまたはサブメニューを終了します。
⑥ Default Presets : デフォルトプリセットボタン (1 ～ 5)	ウインドウ構成を選択します。詳しくは 7 ページ「■ウインドウの基本 」を参照してください。
⑦ User Presets : ユーザープリセットボタン (1 ～ 5)	ウインドウ構成のカスタムプリセットを保存します。詳しくは 7 ページ「■ウインドウの基本 」を参照してください。
⑧ In(1 ～ 4) : 入力選択ボタン	入力を選択します。
⑨ Power : 電源スイッチ	本体の電源を ON/OFF します。
⑩ Window(1 ～ 4) : ウインドウ選択ボタン	ウインドウを選択します。これらのボタンは前面パネル②（ウインドウ A ～ D) のスイッチと連動します。詳しくは 7 ページ「■ウインドウの基本」を参照してください。
⑪ Lock : ロック	本体をロック / ロック解除します。
⑫ Mute : ミュートボタン	全出力の音声信号をミュートします。
⑬ Rotate : 回転ボタン	今後のファームウェアリリースで対応予定の機能です。
⑭ Mirror : ミラーボタン	ウインドウ出力画面を水平に反転します (Y 軸を中心に 180˚ 回転)。
⑮バッテリースロット	電池を収納します。単 4 電池をご使用ください。詳しくは 6 ページ「●電池交換」を参照してください。
⑯ DIP スイッチバンク	リモコンの IR チャンネルを設定します。詳しくは 6 ページ「●チャンネル設定」を参照してください。

●電池交換

① IR リモコン裏面の電池カバーを取り外します。

②＋極と－極の方向を確認して電池を入れます。必ず単 4 電池× 2 本をお使いください。

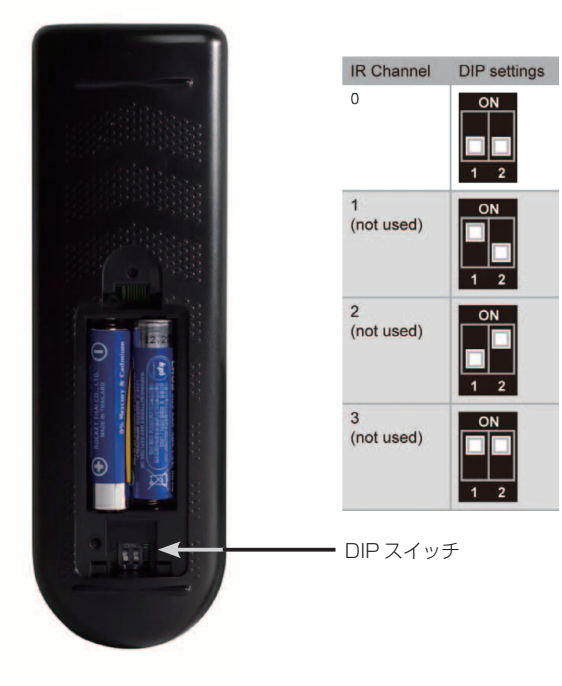
③電池カバーを取り付けます。

警告 : 電極を逆にすると爆発の恐れがあります。十分にご注意ください。また使用後の電池は各地方自治体の指示に従って処分してください。

●チャンネル設定

IR リモコンのチャンネルが「0」に設定されていることを確認してください。「0」以外の設定では正しく動作しない場合があります。今後リリースされるファームウェアでは IR チャンネルの変更に対応予定です。

重要 : 本体と正しく通信するため、IR リモコンのチャンネルは必ず「0」に設定してください。



IR Channel	DIP settings
0	ON 1 2
1 (not used)	ON 1 2
2 (not used)	ON 1 2
3 (not used)	ON 1 2

■接続方法

① 本体の入力端子 (In 1 ～ In 4) へ HDMI ケーブルを使用して最大 4 台の HD ソース機器を接続します。

② 本体の出力端子 (HDMI Out) へ表示機器を接続します。

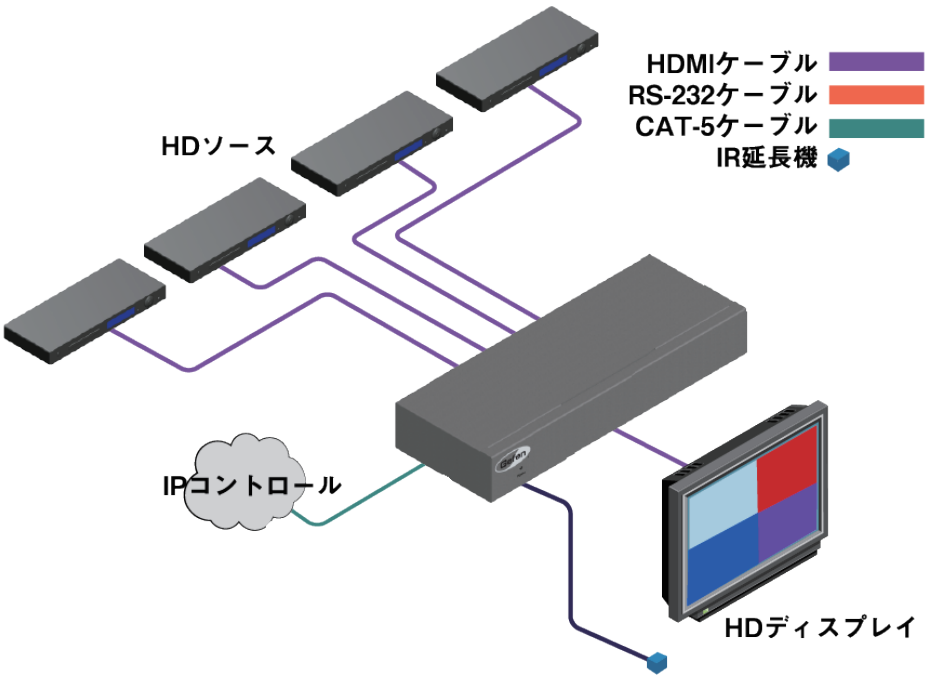
③ オプション :RS-232 ケーブルを使用して、シリアルコントローラーの RS-232 端子と本体の RS-232 端子を接続します。

④ オプション : イーサネットケーブルを使用して、本体の IP Control 端子とローカルエリアネットワーク (LAN) を接続します。

⑤ オプション : IR Ext 端子に付属の IR 延長受光部 (EXT-RMT-EXTIRN) を接続します。

⑥ 付属の電源アダプターを本体に接続します。ロック式電源端子の締めすぎにご注意ください。

⑦ 電源をコンセントに接続します。



◆操作方法

■はじめに

●スタンバイモード

前面パネル電源 [**Power**] スイッチ横の LED は本体の電源ステータスを表示します。スタンバイモードでは、本体へ電源供給されていますがオフの状態です。スタンバイモード中、LED は赤く点灯します。LED が点灯しない場合、電源アダプターとの接続やコンセントとの接続をご確認ください。

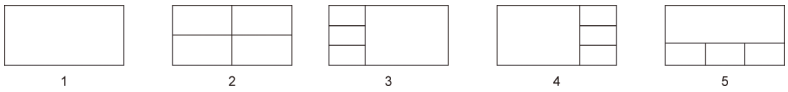
●本体の電源を ON にする

電源 [**Power**] スイッチを押して電源を ON にします。電源が ON の間、電源 [**Power**] スイッチは青く点灯します。もういちど電源 [**Power**] スイッチを押すと、本体はスタンバイモードに戻ります。

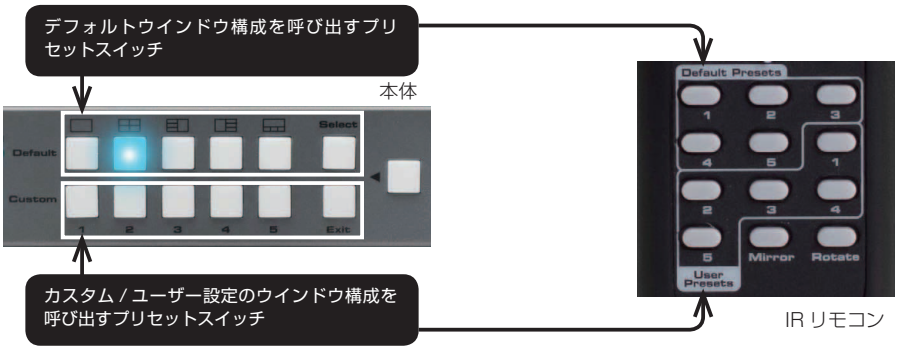
■ウインドウの基本

●ウインドウ構成の選択

本機は 1 台の表示機器に 4 系統のソース機器の画像を同時に表示できます。また、内蔵ウェブインターフェースを使用して様々なウインドウ構成を作成することもできます。全てのウインドウは単独でスケーリングが可能であり、サイズや配置を自由に変更できます。本体には 5 つのデフォルト・ウインドウプリセットが搭載されています。



前面パネルのデフォルト・ウインドウプリセットスイッチの上部にウインドウ構成のイラストが表示されており、プリセットスイッチを押すと選択できます。選択中のプリセットスイッチは青く点灯します。



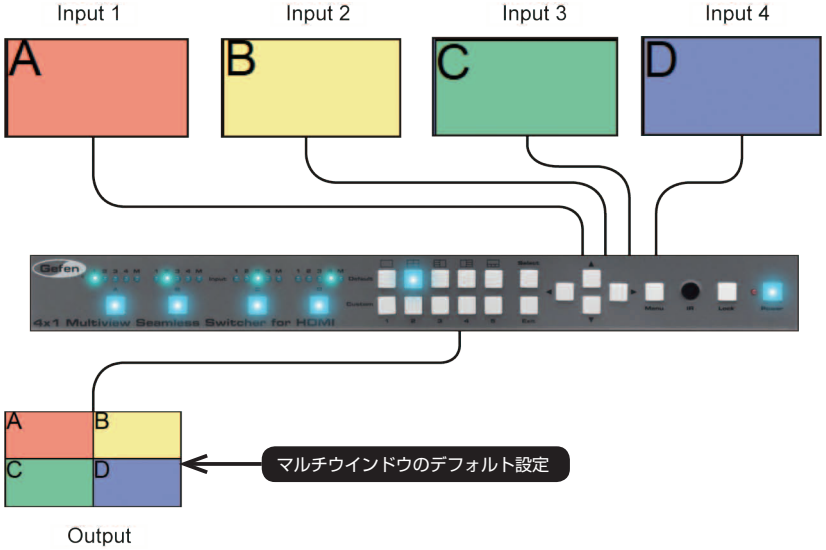
デフォルトプリセットの下にはカスタムプリセットスイッチがあります。これらのスイッチを使用して、カスタムプリセットの保存 / 呼び出しができます。内蔵ウェブインターフェースを使用して、カスタムプリセットを作成することが可能です。詳しくは 44 ページ「● Presets」を参照してください。

なお工場出荷時の設定では、電源がオンになると自動的に Default 2 プリセットを読み込みます。

●シングルウインドウについて

本機は 1 台の表示機器に最大 4 系統のソースを表示します。画面に複数のソースを表示する場合、各ソースは「ウインドウ」と呼ばれます。一般的に、「ウインドウ」は入力と定義されますが、マルチウインドウの説明に入る前に、シングルウインドウの操作を説明します。

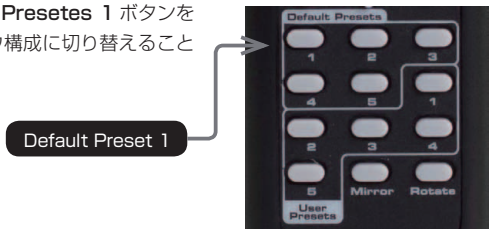
以下の例では、本体に 4 系統のソース機器が接続され、それぞれは 1 つの画像を表しています。なお、工場出荷時設定では、電源がオンになると自動的に **Default 2** のプリセットを読み込みます。



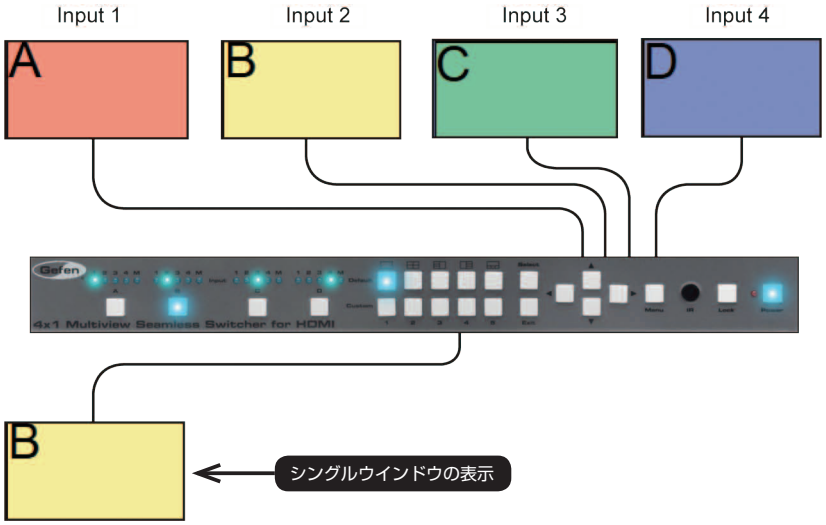
① 前面パネルの **Default 1** スイッチを押して、シングルウインドウ構成に切り替えます。

Default 1 プリセットはウインドウ B を使用：

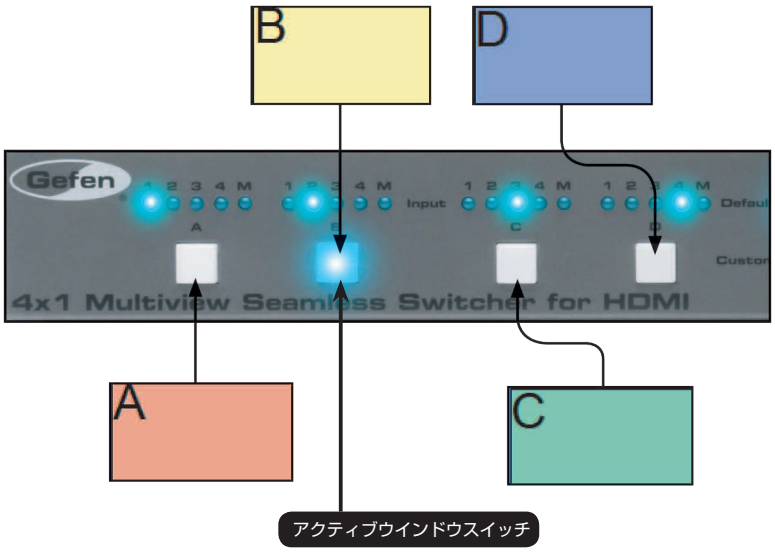
※ IR リモコンの **Default Presetes 1** ボタンを押してシングルウインドウ構成に切り替えることもできます。



② 選択中のウインドウが表示されます。



前項では、ウインドウ B を選択し、ウインドウ B を表示しました。選択中のウインドウスイッチは、他のウインドウスイッチが押されるまで点灯し続けます。シングルウインドウモードでは、前面パネルにあるウインドウスイッチ (A ～ D) は 4 系統の入力を表します。



③ 前面パネルにあるウインドウスイッチを押して、ディスプレイ上の画面がどのように変化するかをお確かめください。付属の IR リモコンのウインドウボタンを押して、ウインドウを切り替えることもできます。

●ルーティングステータスの変更 (シングルウインドウ)

この操作には、2 つの方法があります。

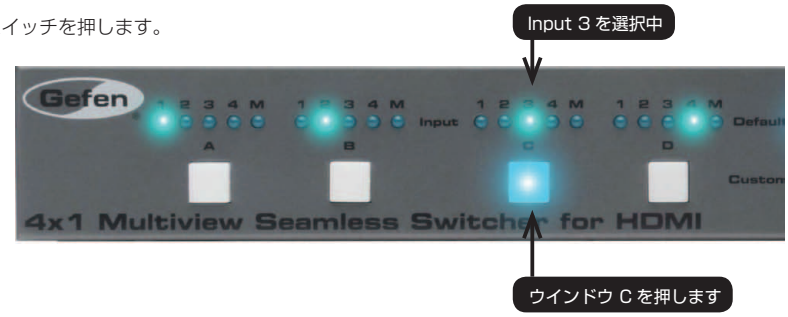
(1) 異なる入力で異なるウインドウスイッチを選択します。

(2) 現在の出力のルーティングステータスを変更します。

この例では、入力 3 に接続されているソースを表示します。

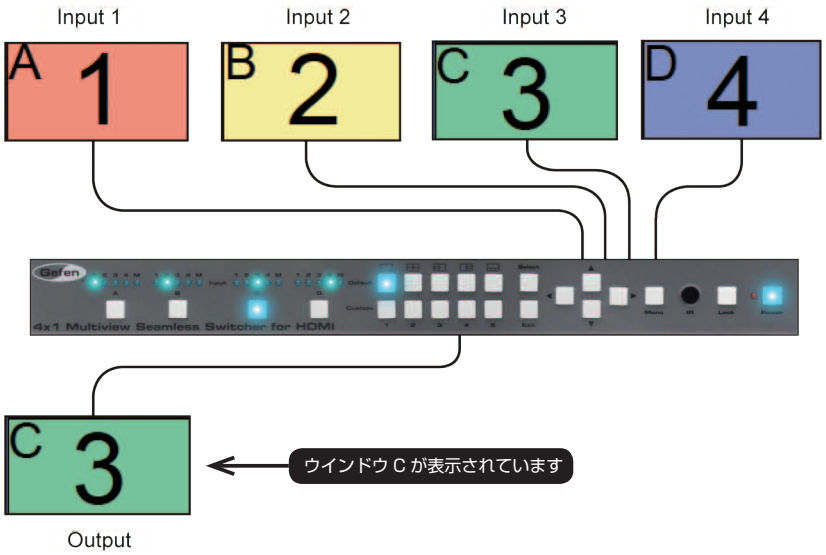
方法 1：

① 前面パネルの**ウインドウ C** スイッチを押します。



IR リモコンを使用する場合は **Window** の **3** ボタンを押します。

② 以下の各ボックスの番号は、各ウインドウに選択されている入力を表します。入力３がウインドウＣに接続しているため、入力３のソースが表示されています。



方法 2：

① 前面パネルの**ウインドウ B** スイッチを押します。

② もう一度**ウインドウ B** スイッチを押して、**Input 3** を選択します。IR リモコンを使用する場合は **Window** の **2** ボタンを押して、更に **Input** の **3** を押します。

③ 入力３がウインドウ B にルーティングされました。現在ウインドウ B がアクティブなため、入力３のソースが表示されます。

このように、入力は変わらずウインドウ名だけが変更されました。

●マルチウインドウについて

※ 本機は２×２ビデオウォールと連動できるように設計されています。但し、4 × 1(横一列) や 1 × 4(縦一列) 構成はサポートしていません。

既に説明したように、本機では 1 台の表示機器に最大 4 系統のソースを表示します。画面に複数のソースを表示する場合、各ソースは「ウインドウ」と呼ばれます。一般的に、「ウインドウ」は入力と定義されます。マルチウインドウの説明に入る前に、シングルウインドウの項目を理解してください。

シングルウインドウ構成では、切り替えるソースはひとつです。

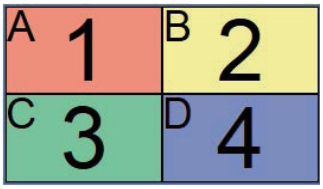
本機で複数のウインドウをひとつのディスプレイで表示する場合、各ウインドウにアルファベットを割り当て、ウインドウを区別します。

Default 1 プリセットは**ウインドウ B** に設定されました。

Default 2 プリセットは以下のように設定されます。

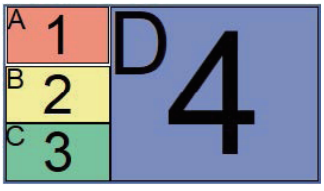
各ウインドウにデフォルト入力が割り当てられ、入力は数字「1」～「4」で識別されています。

ウインドウ A には入力 1、**ウインドウ B** には入力 2、**ウインドウ C** には入力 3、**ウインドウ D** には入力 4 が割り当てられます。なお、ウインドウに任意の入力を割り当てることも可能です。



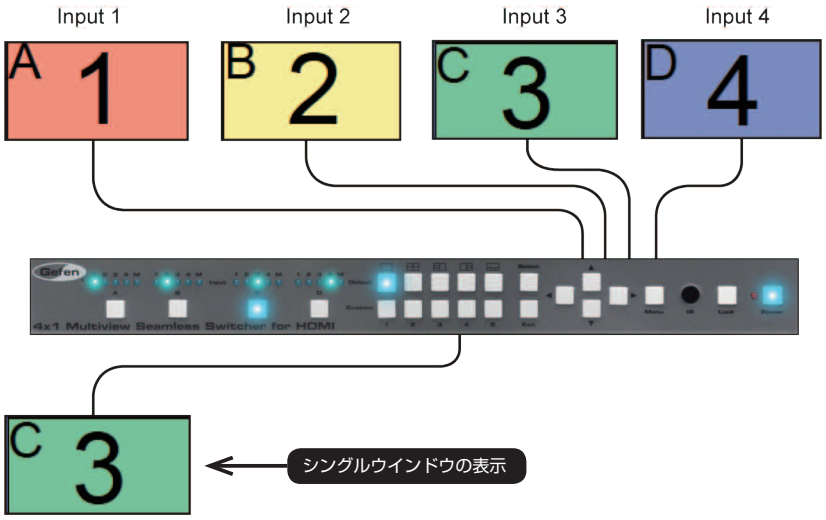
もう 1 つの例は **Default 3** プリセットです。

各ウインドウ (または各ウインドウに割り当てられる入力) の配置は変更できますが、ウインドウ ID(Window A ～ D) は変わりません。



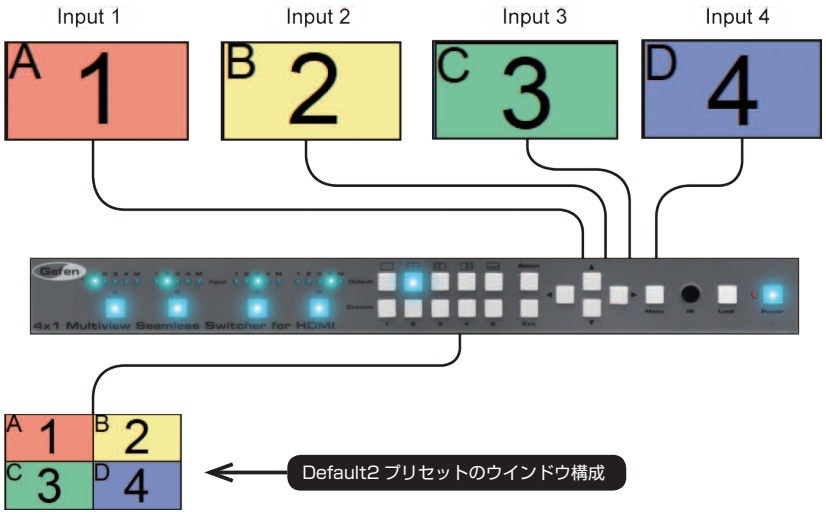
マルチウインドウを使用する場合、マルチウインドウスイッチはアクティブです。先ほどの例を使って、シングルウインドウとの違いについて説明します。

以下のイラストでは、**ウインドウ C** が選択されています。入力 3 は**ウインドウ C** にルーティングされているため、**ウインドウ C** には **Input 3** に接続されているソースが表示されます。



① **Default 2** スイッチを押すと、2 × 2 マルチウインドウ構成が表示されます。

② 4 つのウインドウは出力画面に均等 (4 分割) に表示されます。このウインドウ構成は **Default 2** プリセットで使用されます。



③ ここで、Input 2 に接続されているソースが画面の上半分に表示されるように、ルーティングステータスを変更します。

Default 2 のウインドウテンプレートを確認すると、Input 2 からウインドウ A へのルーティングは既に実行されていることが分かります。

④ 再度**ウインドウ A** スイッチを押します。LED インジケーターは **Input 1** から **Input 2** に切り替わります。

⑤ ディスプレイは以下のように表示されます。

●出力のマスキング / マスキング解除

「マスキング」機能により、ソース機器からの映像信号をウインドウに表示させないようにします。入力機器の電源を切る、または接続を取り外す代わりに、単独または複数の出力をマスキングすることが可能です。マスキング機能はシングルウインドウとマルチウインドウ構成に対応します。

重要！マスキングの設定は、前面パネルボタンを使用するか、内蔵のウェブインターフェース経由で実行してください。

▼前面パネルボタンの使用

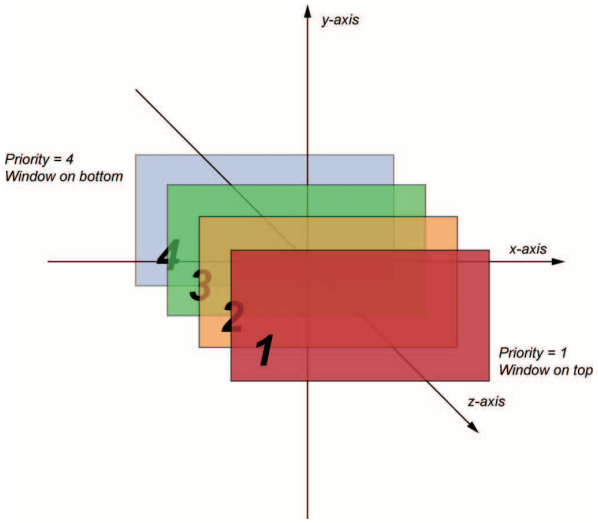
① マスキングする出力のスイッチを押します。この例では**ウインドウ B** を選択します。

② **M** LED インジケーターが点灯するまで**ウインドウ B** スイッチを長押しします。

③ ウインドウのマスキングを解除するには、ウインドウスイッチを押して入力を選択します。

●ウインドウの順序

内蔵ウェブインターフェースにより、ウインドウのサイズと配置を自由に変更できます。また、ウインドウの順序も変更可能です。2 次元 (または 3 次元) における物体の描画順は「Z オーダー」と呼ばれます。



本機の場合、ウインドウ B は最上面に設定され、変更することはできません。

上記のイラストでは、赤いウインドウは順序「1」に設定され、最上面のウインドウとして表示されます。ウインドウを順序「4」に設定すると (青いウインドウ)、ウインドウは最後面に表示されます。順序として、「1」は最上面、「4」は最後面となります。なお、マルチウインドウは同じ順序を共有することができません。

本機はウインドウを透明にすることはできません。また、ウインドウの順序はダイアグラム上に表すためのみに使用されます。

●ウインドウの順序を指定する

① 本体のウェブインターフェースにアクセスします。アクセス方法について、詳しくは 38 ページの「■ウェブインターフェース」を参照してください。

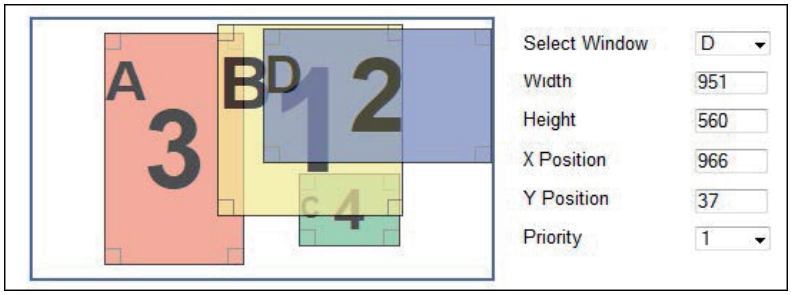
② ウェブインターフェースの「ウインドウのセットアップ」ページに進みます。

③ **Select Preset** ドロップダウンリストから **Preset - 8** を選択します。また、ウインドウのサイズと配置は以下のように設定しました。

④ ウインドウをクリックして選択するか、もしくは **Select Window** ドロップダウンリストから選択します。この例では、ウインドウ D を選択して、最上面のウインドウに設定します。

⑤ 選択された現在のウインドウの順序は **Priority** ドロップダウンリストに表示されます。

⑥ **Priority** ドロップダウンリストから **1** を選択します。



⑦ ここで、ウインドウ D は最上面に設定されました。インタラクティブワークスペースにて、ウインドウの配置は自由に変更できます。このウインドウは最上面として表示されます。

⑧ **Save** ボタンをクリックして、プリセットの変更を保存します。

■ビデオエフェクト

シングルウインドウでは、3 つのポストプロダクション向けのビデオエフェクトがあります。フェード、クロマキーとミラーです。

重要！ビデオエフェクトはシングルウインドウアプリケーションのみに有効です。マルチウインドウには対応していません。

●フェード

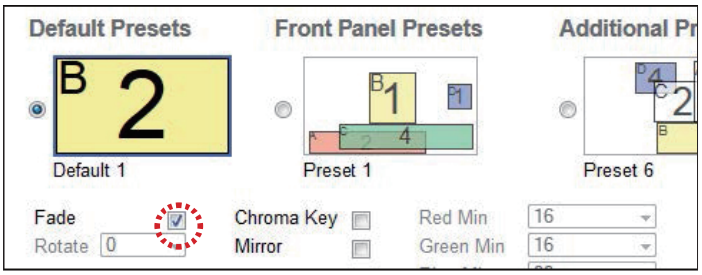
フェードエフェクトは、異なるソースからの映像を切り替える際に 1 秒間のクロスディゾルブ効果を加えます。なお、フェードを含む全てのビデオエフェクトは、シングルウインドウ出力のみに有効です。

① 本機のウェブインターフェースにアクセスします。アクセス方法について、詳しくは 38 ページ「■ウェブインターフェース」を参照してください。

② **Routing** タブを選択します。

③ Default 1 プリセットの横にあるラジオボタンをクリックします。

④ **Fade** チェックボックスをチェックします。



⑤ フェードエフェクトを確認するには、IR リモコンまたは前面パネルのウインドウスイッチを使用して、出力を切り替えます。

●クロマキー

クロマキーエフェクトは 2 つの画像を合成するポストプロダクションの技術であり、「color-keying」効果とも呼ばれます。第 1 層と呼ばれる単色の背景にある対象物を撮影した映像は、背景と呼ばれる第 2 層の映像と重ねます。2 層の画像を合成した上、第 1 層の単色背景を取り除く (キーイング) と、対象物は第 2 層に存在するように見せかけます (例：気象レポーターが天気予報図の前に立つ)。

対象物 (Window B)　背景 (Window A)　合成画像 (Window B)

① 本機のウェブインターフェースにアクセスします。詳しくは 38 ページの「■ウェブインターフェース」を参照してください。

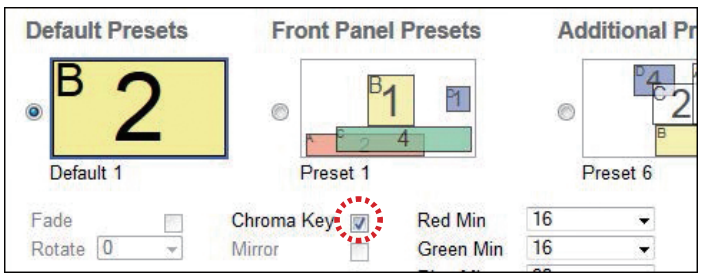
② **Routing** タブを選択します。

③ Default 1 プリセットの横にあるラジオボタンをクリックします。

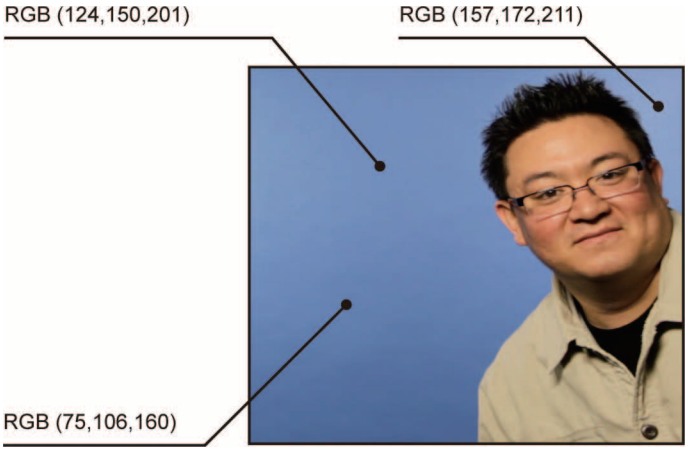
④ 対象物を含む映像を **Window B** に切り替えます。

⑤ 背景の画像を **Window B** に切り替えます。

⑥ **Chroma Key** チェックボックスをチェックします。



単色の背景に対象物を移すと、必ず影や他の照明の欠陥が生じ、背景は完全な RGB 値を示しません。そのため、カラーレンジの最小値と最大値を指定する必要があります。



⑦色の Min RGB 値を「keyed」に設定します。

Red Min	0	Red Max	0
Green Min	16	Green Max	0
Blue Min	32	Blue Max	0

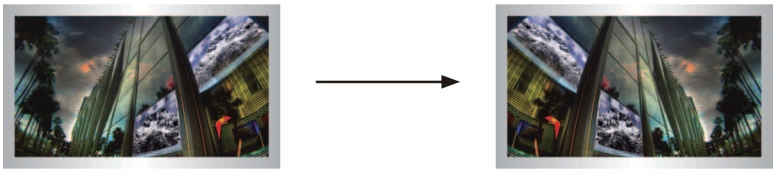
⑧色の Max RGB 値を「keyed」に設定します。

Red Min	0	Red Max	0
Green Min	16	Green Max	48
Blue Min	32	Blue Max	240

⑨合成映像は「Window A」に表示されます。

●ミラー

ミラーエフェクトはウインドウ B の画面を水平に反転します (Y 軸を中心に 180˚ 回転)。



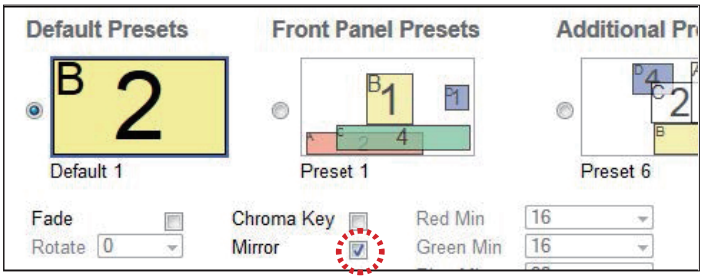
Window B　　Window B (mirrored)

① 本機のウェブインターフェースにアクセスします。詳しくは 38 ページ「■ウェブインターフェース」を参照してください。

② **Routing** タブを選択します。

③ Default 1 プリセットの横にあるラジオボタンをクリックします。

④ **Mirror** チェックボックスをチェックします。



⑤ **Window B** の画像は水平に反転されます。

■本体のロック / ロック解除

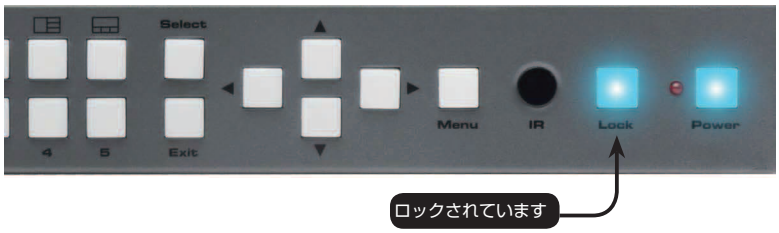
本体をロックすると、前面パネルにある全てのボタン (Lock ボタンを除く) は無効となり、誤動作を防止します。

●前面パネルスイッチによる操作

① 前面パネルの Lock スイッチを長押しすると、Lock スイッチが点滅します。

② Lock スイッチが点灯するまでに押し続けます。

③ 本機はロックされました。ロック中、Lock スイッチは点灯し続けます。



④ 本機のロックを解除するには、Lock スイッチを長押しします。Lock スイッチは点滅しはじめます。

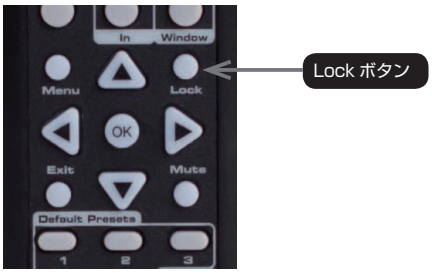
⑤ Lock スイッチが点灯するまでに押し続けます。

⑥ 本機のロックは解除されました。

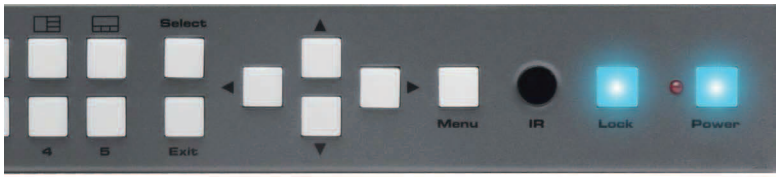
本体のロックが解除されると、Lock スイッチは消灯します。

● IR リモコンによる操作

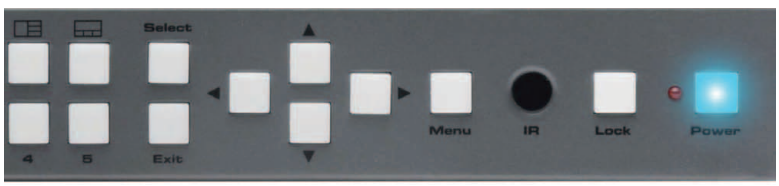
① IR リモコンの Lock ボタンを押します。



② 本体のロック中、前面パネルの Lock スイッチは点灯し続けます。



③ 本体のロックを解除するには、Lock スイッチを押します。Lock スイッチは消灯します。

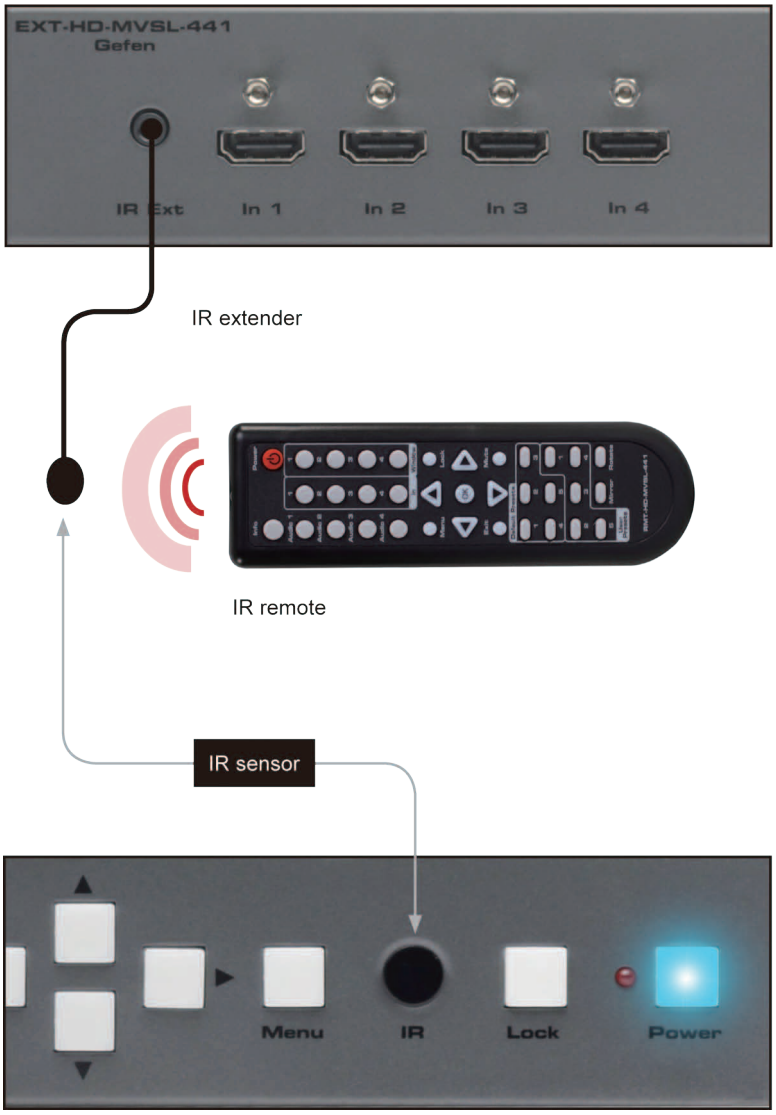


本体のロックは解除されました。

本体のロックが解除されると、Lock スイッチは消灯します。

■ IR 延長器の使用

本体を設置するキャビネットやマウントされている機器によっては、IR センサーの受信を遮断することがあります。この場合、本体の IR Ext 端子に付属の IR 延長受光部 (EXT-RMT-EXTIRN) を接続して使用します。IR 延長受光部は本体の前面パネルにある IR 受光部と同じように動作します。なお、IR リモコンは常に IR センサーに向くようにしてください。



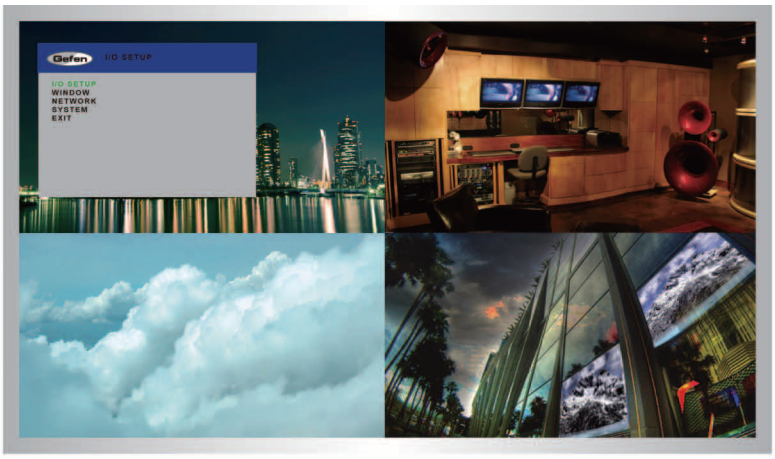
■メニューシステム

●メニューシステムへのアクセス

本機では内蔵のメニューシステムを使用して、全てのビデオ機能を管理 / 操作します。メニューシステムにアクセスするには、前面パネルまたは付属の IR リモコンの **Menu** ボタンを押します。

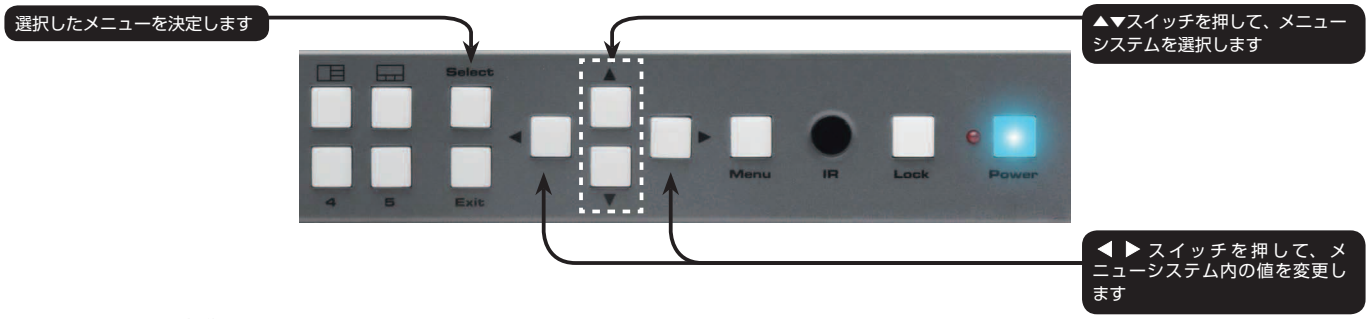
前面パネルの **Menu** スイッチを押すと、**Menu** スイッチはメニューシステムが画面に表示されている間は点灯し続けます。デフォルト設定では、画面の左上にメニューシステムが表示されます。

メニューシステムのタイムアウト時間はメニューシステムの「● OSD の設定」(p23) にて調整可能です。



▼前面パネルによる操作

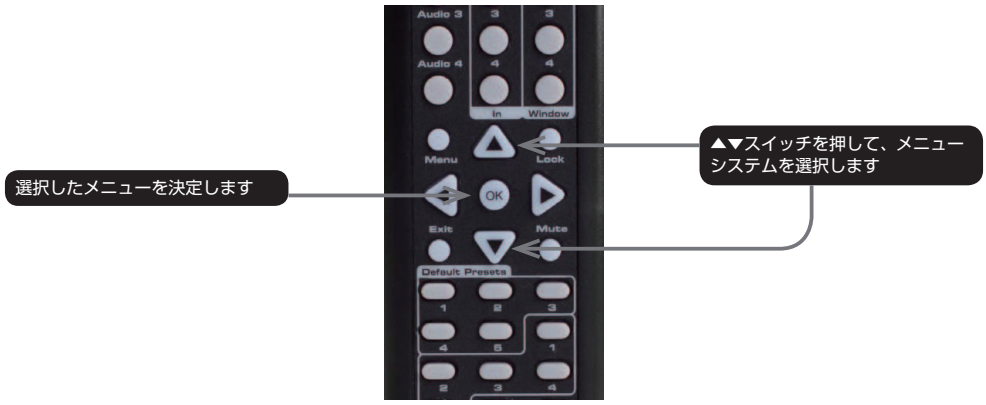
◀ ▶ ▲▼スイッチを使用して、メニューシステムをナビゲートします。▲▼スイッチで上下に動かします。◀ ▶スイッチで値を変更します。OK スイッチで選択を実行します。選択中の項目は緑色にハイライトされます。



▼ IR リモコンによる操作

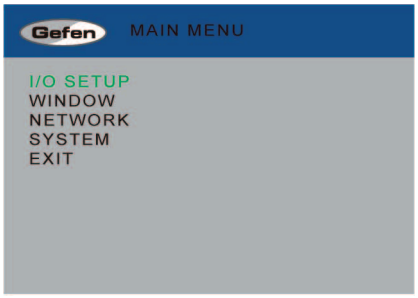
IR リモコンには、前面パネルボタンと同じ動作を行うボタンがあります。

◀ ▶ ▲▼ボタンを使用して、メニューシステムをナビゲートします。▲▼ボタンを押して、上下に動かします。◀ ▶ ボタンを押して値を変更します。OK ボタンで、選択を実行します。選択中の項目は緑色にハイライトされます。

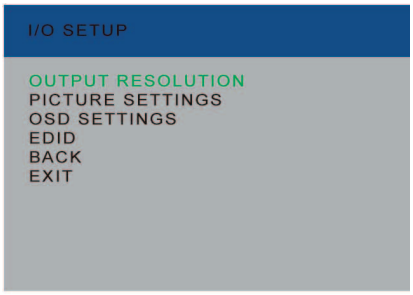


●出力解像度の設定

① 前面パネルまたは IR リモコンの **Menu** スイッチを押してメニューシステムを表示します。



② **Select** スイッチを押して **I/O SETUP** メニューを表示します。IR リモコンを使用する場合は **OK** ボタンを押します。

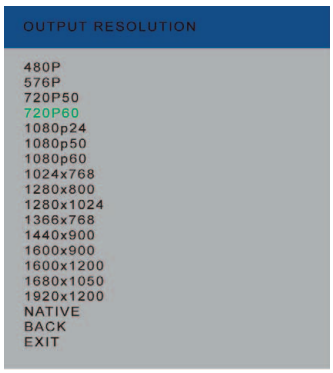


③ 再度 **Select** イッチを押すと、**OUTPUT RESOLUTION** メニューが表示されます。IR リモコンを使用する場合は **OK** ボタンを押します。

④ ▲▼ボタンを使用して希望の解像度を選びます。

※解像度の変更前に、使用する表示機器が選択した解像度に対応することを確認してください。

⑤ **Select** ボタンを押して、変更内容を実行します。IR リモコンを使用する場合、**OK** ボタンを押します。

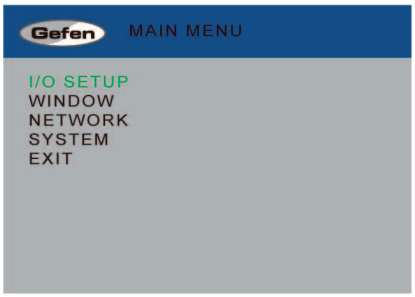


選択した解像度にディスプレイが対応していない場合、「#fadefault」コマンドを使用して本体の解像度をリセットします。

コマンドについて、詳しくは 29 ページ「◆高度な操作」を参照してください。

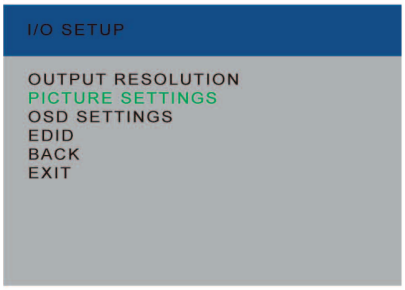
●輝度の調整

① 前面パネルまたは IR リモコンの **Menu** スイッチを押してメニューシステムを表示します。



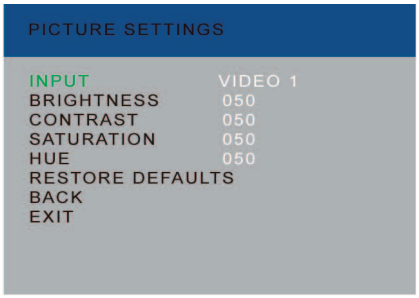
② **Select** スイッチを押して **I/O SETUP** メニューを表示します。IR リモコンを使用する場合は **OK** ボタンを押します。

③ ▲▼スイッチを使用して、**PICTURE SETTINGS** を選択します。



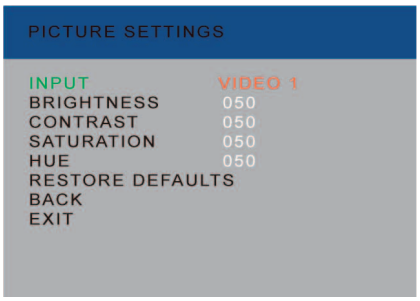
④ **Select** スイッチを押して、**PICTURE SETTINGS** メニューを表示します。IR リモコンを使用する場合、**OK** ボタンを押します。

⑤ **INPUT** がハイライトされます。ハイライトされない場合は▲▼スイッチを使用して **INPUT** をハイライトします。各入力は単独で輝度を設定可能です。なお、変更前に必ず入力を選択しください。



⑥ **Select** スイッチを押して、**INPUT** を選択します。選択された入力はオレンジ色にハイライトされます。

⑦ ◀ ▶スイッチを使用して入力を選択します。

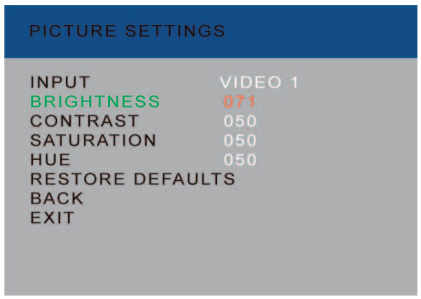


⑧ **Select** スイッチを押して入力を決定します。

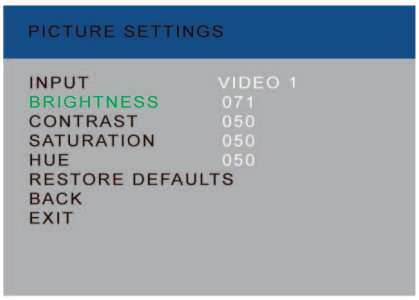
⑨ ▲▼スイッチを使用して、**BRIGHTNESS** をハイライトします。

⑩ **Select** スイッチを押して、**BRIGHTNESS** を選択します。

⑪ ◀ ▶スイッチを使用して、輝度値を変更します。

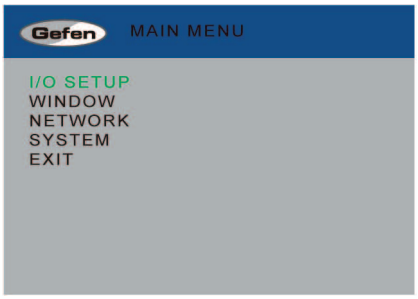


⑫ Select スイッチを押して、変更を実行します。



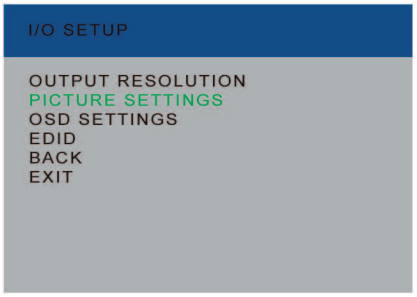
●コントラストの調整

① 前面パネルまたは IR リモコンの Menu スイッチを押してメニューシステムを表示します。



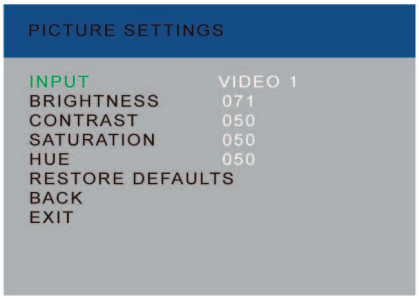
② Select スイッチを押して I/O SETUP メニューを表示します。IR リモコンを使用する場合は OK ボタンを押します。

③ ▲▼スイッチを使用して、PICTURE SETTINGS をハイライトします。



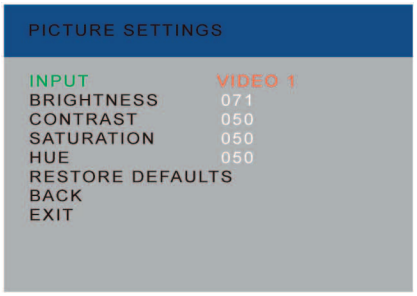
④ Select スイッチを押して、PICTURE SETTINGS メニューを表示します。IR リモコンを使用する場合、OK スイッチを押します。

⑤ INPUT がハイライトされます。ハイライトされない場合、▲▼スイッチを使用して、INPUT をハイライトします。各入力は単独でコントラストを設定可能です。なお変更前に必ず入力を選択してください。



⑥ Select スイッチを押して、INPUT を選択します。選択された入力はオレンジ色にハイライトされます。

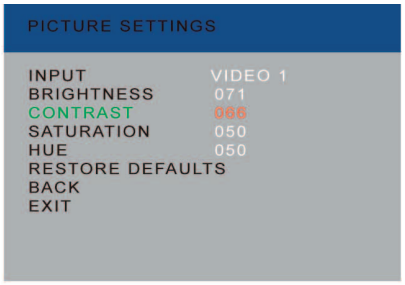
⑦ ◀ ▶スイッチを使用して、入力を選択します。



⑧ Select スイッチを押して、入力を決定します。

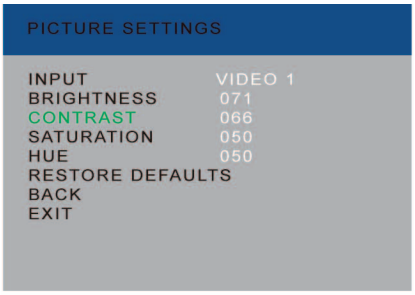
⑨ ▲▼スイッチを使用して、CONTRAST をハイライトします。

⑩ Select スイッチを押して、CONTRAST を選択します。



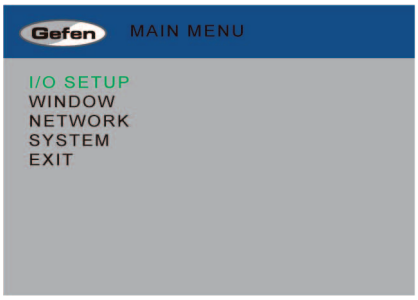
⑪ ◀ ▶スイッチを使用して、コントラスト値を変更します。

⑫ Select スイッチを押して、変更内容を実行します。



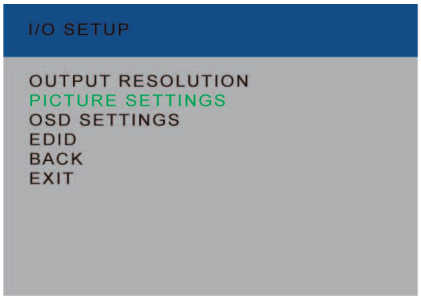
●サチュレーションの調整

① 前面パネルまたは IR リモコンの Menu スイッチを押してメニューシステムを表示します。



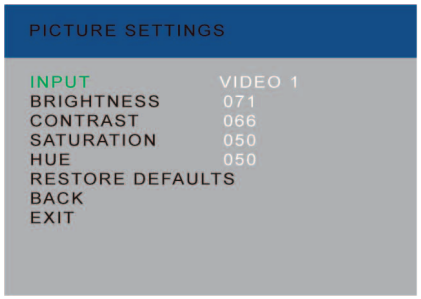
② Select スイッチを押して I/O SETUP メニューを表示します。IR リモコンを使用する場合は OK ボタンを押します。

③ ▲▼スイッチを使用して、PICTURE SETTINGS をハイライトします。



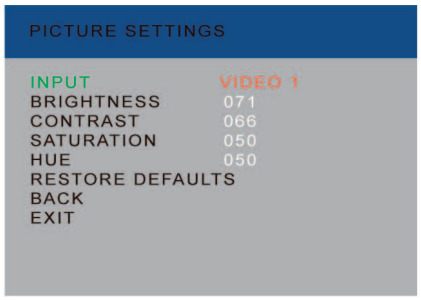
④ Select スイッチを押して、PICTURE SETTINGS メニューを表示します。IR リモコンを使用する場合、OK スイッチを押します。

⑤ INPUT がハイライトされます。ハイライトされない場合、▲▼スイッチを使用して、INPUT をハイライトします。各入力は単独でサチュレーションを設定可能です。なお変更前に必ず入力を選択してください。



⑥ Select スイッチを押して、INPUT を選択します。選択された入力はオレンジ色にハイライトされます。

⑦ ◀ ▶スイッチを使用して、入力を選択します。

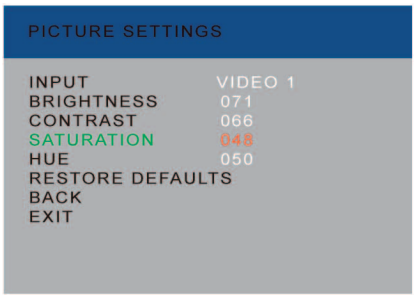


⑧ Select スイッチを押して、入力を決定します。

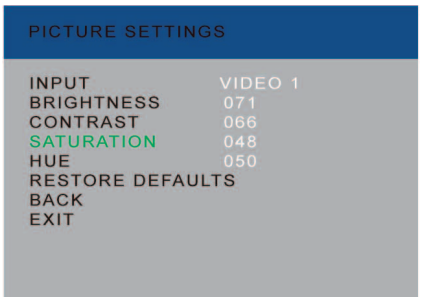
⑨ ▲▼スイッチを使用して、SATURATION をハイライトします。

⑩ Select スイッチを押して、SATURATION を選択します。

⑪ ◀ ▶スイッチを使用して、サチュレーション値を変更します。

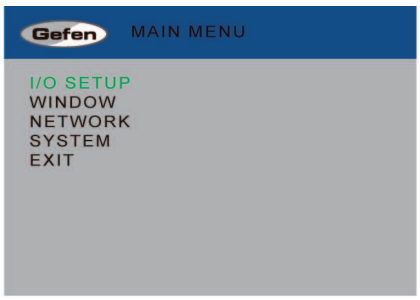


⑫ Select スイッチを押して、変更内容を実行します。



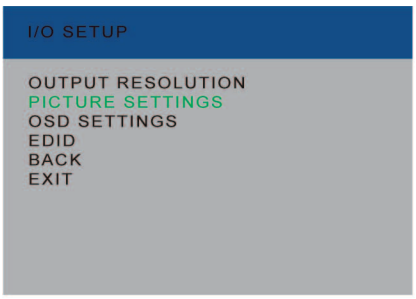
●色合いの調整

① 前面パネルまたは IR リモコンの Menu スイッチを押してメニューシステムを表示します。



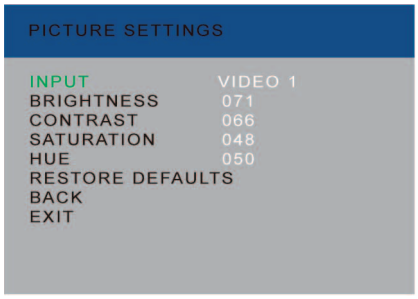
② Select スイッチを押して I/O SETUP メニューを表示します。IR リモコンを使用する場合は OK ボタンを押します。

③ ▲▼スイッチを使用して、PICTURE SETTINGS をハイライトします。



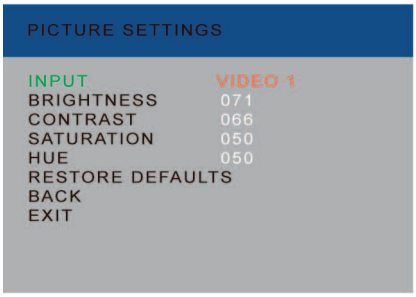
④ Select スイッチを押して、PICTURE SETTINGS メニューを表示します。IR リモコンを使用する場合、OK スイッチを押します。

⑤ INPUT がハイライトされます。ハイライトされない場合、▲▼スイッチを使用して、INPUT をハイライトします。各入力は単独でサチュレーションを設定可能です。なお変更前に必ず入力を選択してください。



⑥ Select スイッチを押して、INPUT を選択します。選択された入力はオレンジ色にハイライトされます。

⑦ ◀ ▶スイッチを使用して、入力を選択します。

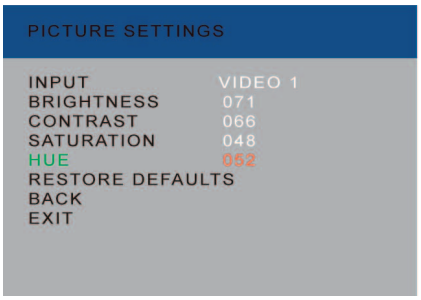


⑧ Select スイッチを押して、入力を決定します。

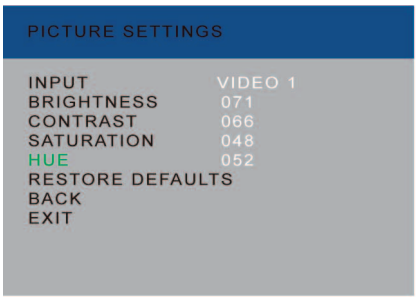
⑨ ▲▼スイッチを使用して、HUE をハイライトします。

⑩ Select スイッチを押して、HUE を選択します。

⑪ ◀ ▶スイッチを使用して、色合い値を変更します。



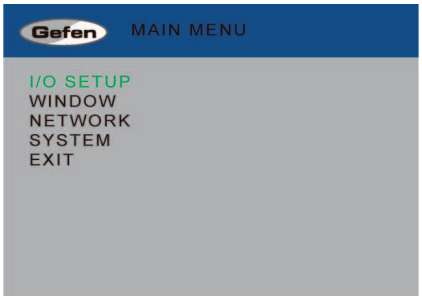
⑫ Select スイッチを押して、変更を実行します。



● OSD の設定

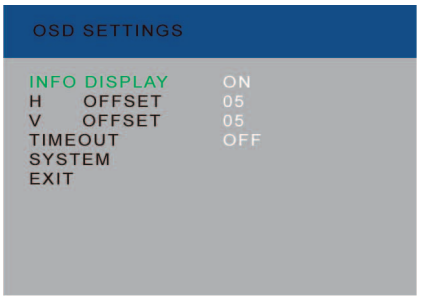
OSD の設定メニューは OSD の表示方法を設定します。

① 前面パネルまたは IR リモコンの Menu スイッチを押してメニューシステムを表示します。



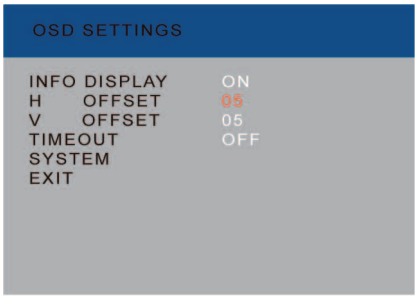
② Select スイッチを押して I/O SETUP メニューを表示します。IR リモコンを使用する場合は OK ボタンを押します。

③ ▲▼スイッチを使用して、OSD SETTINGS をハイライトします。



④ 変更したい項目をハイライトしたら Select スイッチを押して実行します。IR リモコンを使用する場合、OK ボタンを押します。

オプションを選択すると、その設定値はオレンジ色にハイライトされます。



⑤ ◀ ▶スイッチを使用して値を変更します。

⑥ Select スイッチを押して、変更内容を実行します。IR リモコンを使用する場合、OK ボタンを押します。

▼ Info Display

このオプションが On の場合、ステータスウインドウはアクティブになります。

▼ H Offset

ディスプレイに表示される OSD の水平オフセットです。

▼ V Offset

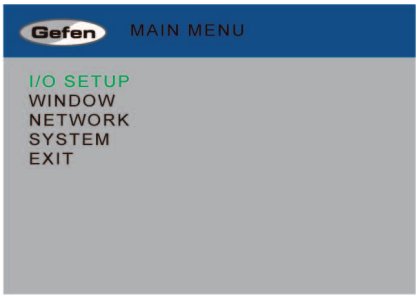
ディスプレイに表示される OSD の垂直オフセットです。

▼ Timeout

Menu スイッチを押すと、OSD が表示されます。タイムアウトは OSD 表示が自動的に画面から消えるまでの時間です (単位：秒)。設定が **Off** の場合、手動で **Menu** ボタンを押して、OSD を画面から消します。

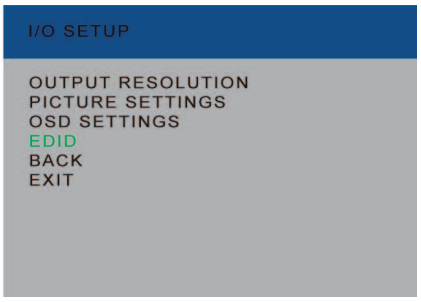
● EDID マネージメント

① 前面パネルまたは IR リモコンの **Menu** スイッチを押してメニューシステムを表示します。

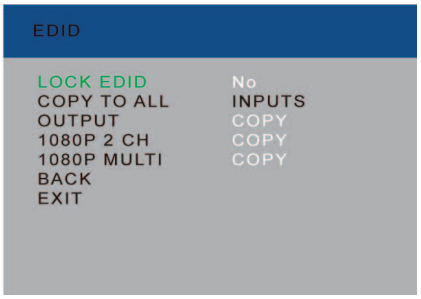


② **Select** スイッチを押して **I/O SETUP** メニューを表示します。IR リモコンを使用する場合は **OK** ボタンを押します。

③ ▲▼スイッチを使用して、**EDID** を選択します。



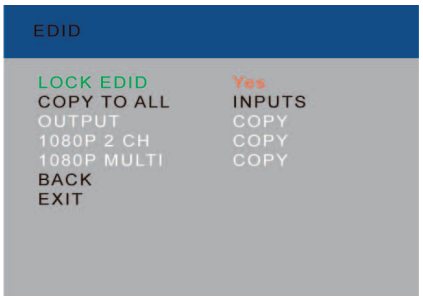
④ **Select** スイッチを押して、**EDID** メニューを表示します。IR リモコンを使用する場合、**OK** ボタンを押します。



⑤ **Select** スイッチを押して、**LOCK EDID** を選択します。

⑥ ◀ ▶ボタンを使用して、**LOCK EDID** の設定を変更します。

⑦ **Select** スイッチを押して、変更を実行します。



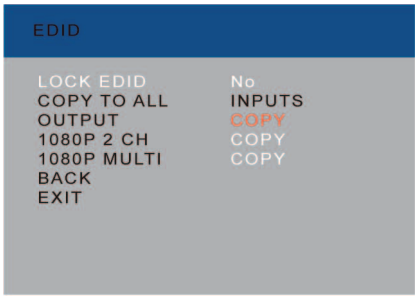
▼ EDID の選択

① **LOCK EDID** が **No** に設定されていることを確認します。

② ▲▼スイッチを使用して、入力に EDID をコピーする出力を選択します。**1080P 2 CH** または **1080P MULTI Ch** EDID を選択することもできます。

EDID を選択する際に、全てのディスプレイが同じ AV 仕様をサポートすることを確認してください。

③ **Select** スイッチを押して、変更を実行します。IR リモコンを使用する場合、**OK** ボタンを押します。

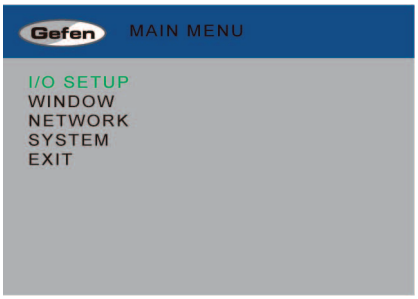


④ ディスプレイは一時的に点滅します。EDID は選択された出力から入力にコピーされ、全ての出力で使用されます。

●ミラー

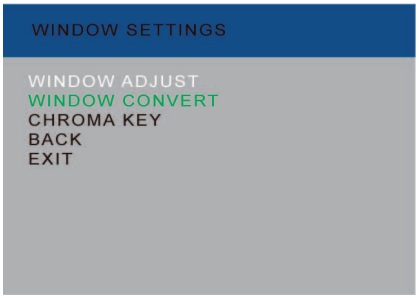
ミラーエフェクトはウインドウ出力の画面を水平に反転します (Y 軸を中心に 180˚ 回転)。

① 前面パネルまたは IR リモコンの **Menu** スイッチを押してメニューシステムを表示します。



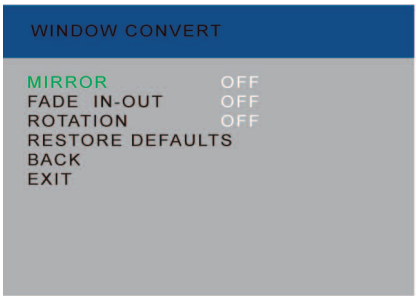
② ▲▼スイッチを使用して、**Window** を選択します。

③ Select スイッチを押して、WINDOW SETTINGS メニューを表示します。IR リモコンを使用する場合、OK ボタンを押します。

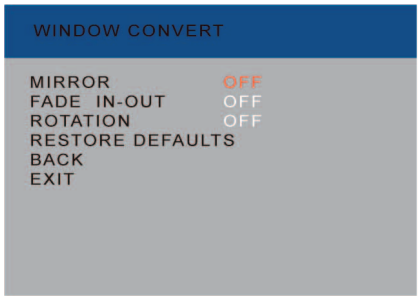


④ ▲▼スイッチを使用して、WINDOW CONVERT を選択します。

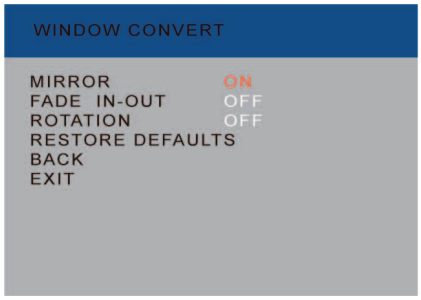
⑤ Select スイッチを押して、WINDOW CONVERT メニューを表示します。IR リモコンを使用する場合、OK ボタンを押します。



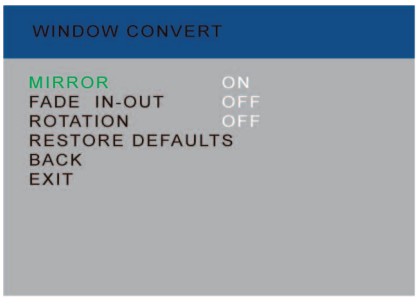
⑥ Select スイッチを押して、MIRROR を選択します。選択された値はオレンジ色にハイライトされます。



⑦ ◀ ▶スイッチを使用して、ミラー設定を ON または OFF に変更します。



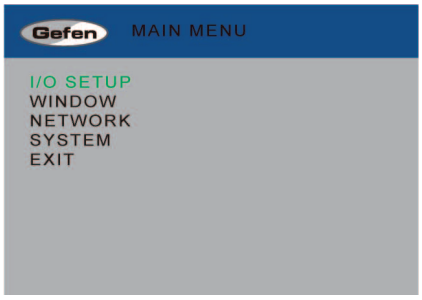
⑧ Select スイッチを押して、変更を実行します。IR リモコンを使用する場合、OK ボタンを押します。



●フェードイン / アウト

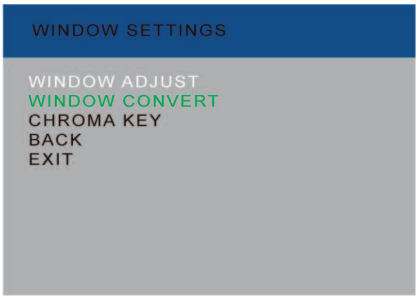
フェードエフェクトは、ウインドウ出力と他のウインドウ出力に切り替える際に 1 秒間のフェード効果を加えます。

① 前面パネルまたは IR リモコンの Menu イッチを押してメニューシステムを表示します。



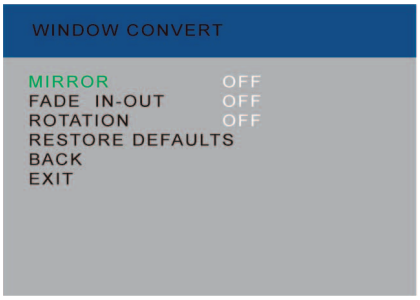
② ▲▼スイッチを使用して、Window を選択します。

③ Select スイッチを押して、WINDOW SETTINGS メニューを表示します。IR リモコンを使用する場合、OK ボタンを押します。



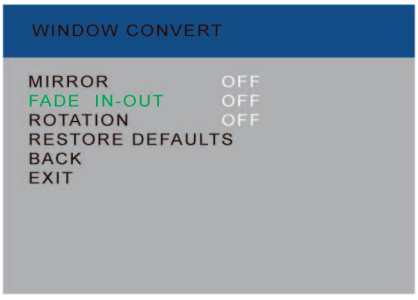
④ ▲▼スイッチを使用して、WINDOW CONVERT を選択します。

⑤ Select スイッチを押して、WINDOW CONVERT メニューを表示します。IR リモコンを使用する場合、OK ボタンを押します。

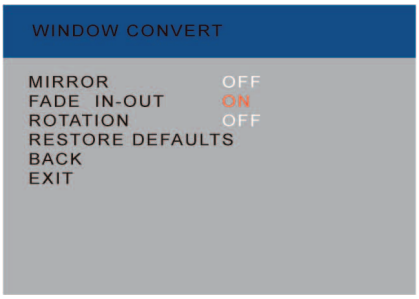


⑥ ▲▼スイッチを使用して、FADE IN-OUT を選択します。

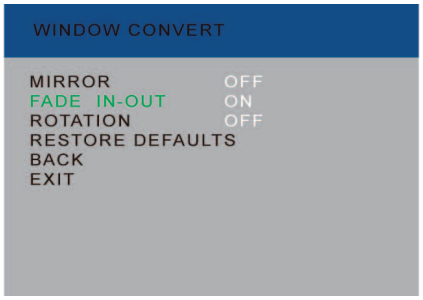
⑦ Select スイッチを押して、FADE IN-OUT メニューを表示します。選択された値はオレンジ色にハイライトされます。



⑧ ◀ ▶スイッチを使用して、フェード設定を ON または OFF に変更します。



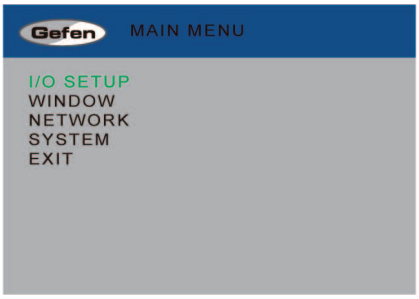
⑨ Select スイッチを押して、変更を実行します。IR リモコンを使用する場合、OK ボタンを押します。



●クロマキー

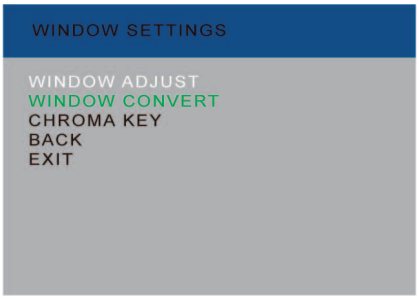
詳しくは「クロマキーの使用」を参照してください。

① 前面パネルまたは IR リモコンの Menu スイッチを押してメニューシステムを表示します。



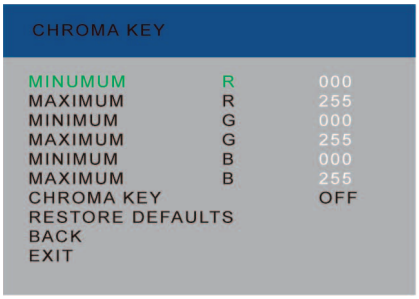
② ▲▼スイッチを使用して、Window を選択します。

③ Select スイッチを押して、WINDOW SETTINGS メニューを表示します。IR リモコンを使用する場合、OK ボタンを押します。



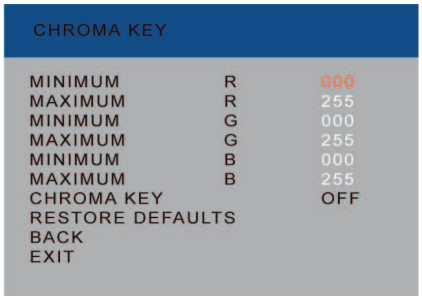
④ ▲▼スイッチを使用して、CHROMA KEY をハイライトします。

⑤ Select スイッチを押して、CHROMA KEY メニューを表示します。IR リモコンを使用する場合、OK ボタンを押します。



⑥ ▲▼スイッチを使用して、MINIMUM R を選択します。

⑦ Select スイッチを押して、MINIMUM R を選択します。選択された値はオレンジ色にハイライトされます。



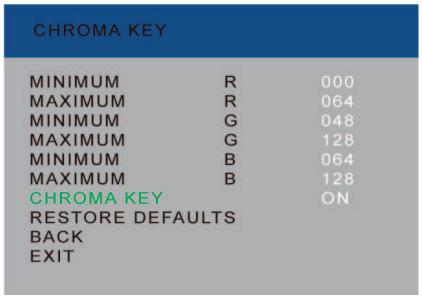
⑧ ◀ ▶ボタンを使用して、値を変更します。

⑨ Select スイッチを押して、変更を実行します。IR リモコンを使用する場合、OK ボタンを押します。

⑩ 最大と最小の R、G、B 値について、上記手順を繰り返します。

⑪ CHROMA KEY を選択します。

⑫ ◀ ▶スイッチを使用して、クロマキーング設定を ON または OFF に変更します。

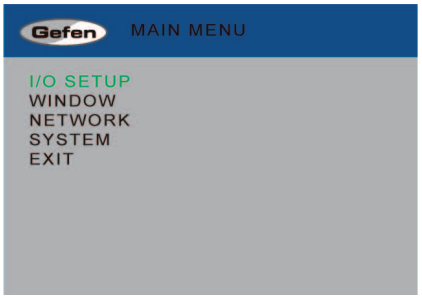


⑬ Select スイッチを押して、変更内容を実行します。IR リモコンを使用する場合、OK ボタンを押します。

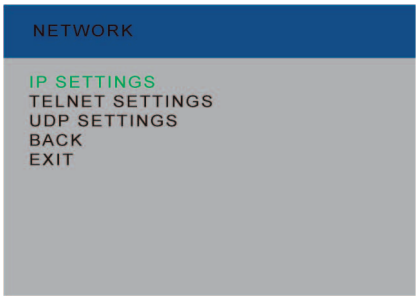
● IP 設定の変更

① 前面パネルまたは IR リモコンの Menu スイッチを押してメニューシステムを表示します。

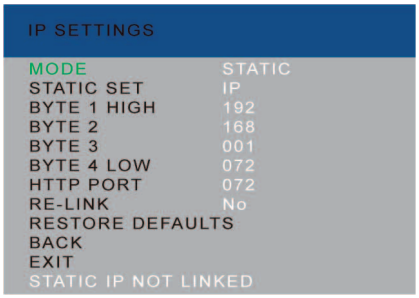
② ▲▼スイッチを使用して、NETWORK を選択します。



③ Select スイッチを押して、NETWORK メニューを表示します。IR リモコンを使用する場合、OK ボタンを押します。

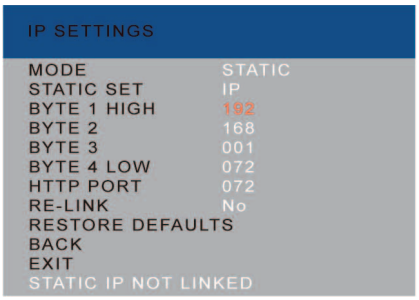


④ 再度 Enter スイッチを押して、IP SETTINGS メニューを表示します。IR リモコンを使用する場合、OK スイッチを押します。



⑤ ▲▼スイッチを使用して、変更する項目を選択します。最初は MODE が自動的に選択されています。

⑥ 項目を選択したら Select スイッチを押して決定します。IR リモコンを使用する場合、OK スイッチを押します。項目を選択すると、その設定値はオレンジ色にハイライトされます。



⑦ ◀ ▶スイッチを使用して値を変更します。

⑧ Select スイッチを押して、変更を実行します。IR リモコンを使用する場合、OK スイッチを押します。

▼ Mode

このオプションを Static または DHCP に設定します。Static を使用する場合、IP アドレスを指定する必要があります。「Byte 1 High」、「Byte 2」、「Byte 3」、「Byte 4」オプションを使用して、IP アドレス、サブネットマスクとゲートウェイを設定します。

▼ Static Set

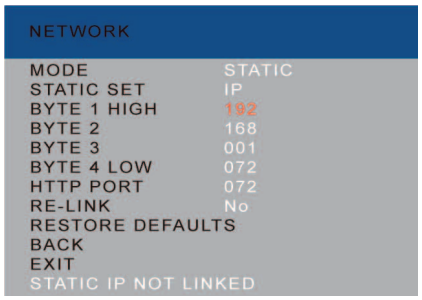
このオプションを使用して、IP アドレス (IP)、サブネットマスク (Mask) とゲートウェイ (Gate) を切り替えます。

▼ Byte

「Byte 1 High」、「Byte 2」、「Byte 3」、「Byte 4」オプションを使用して、IP アドレス、サブネットマスクとゲートウェイを設定します。

▼ HTTP Port

本体の HTTP リスニングポートを設定します。



▼ Re-link

このオプションは現在の IP 設定を使用して、ネットワークに再接続します。

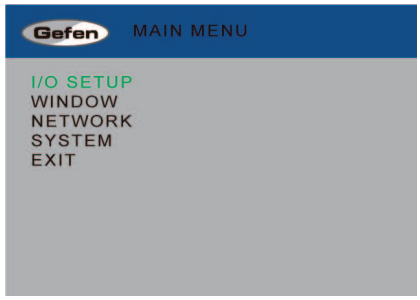
▼ Restore Defaults

このオプションは本体のデフォルト IP 設定をリセットします。

● Telnet 設定の変更

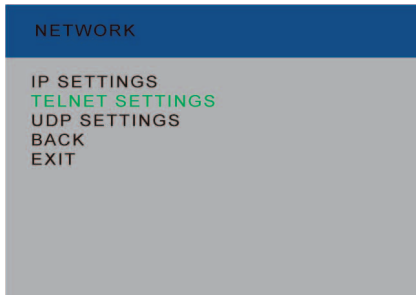
① 前面パネルまたは IR リモコンの Menu スイッチを押してメニューシステムを表示します。

② ▲▼スイッチを使用して、NETWORK を選択します。

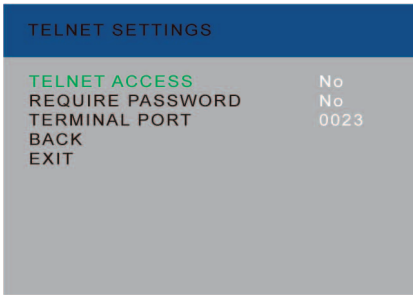


③ Select スイッチを押して、NETWORK メニューを表示します。IR リモコンを使用する場合、OK ボタンを押します。

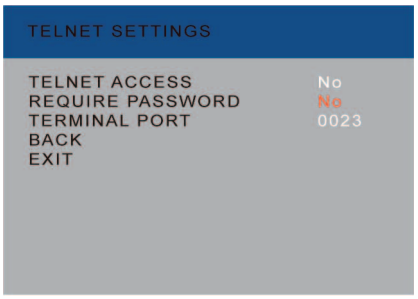
④ ▲▼スイッチを使用して、TELNET SETTINGS をハイライトします。



⑤ 再度 Enter スイッチを押して、TELNET SETTINGS メニューを表示します。IR リモコンを使用する場合、OK スイッチを押します。



⑥ ▲▼スイッチを使用して、**TELNET ACCESS オプションを選択します。**



⑦ 実行する項目を選択したら **Select** スイッチを押して変更を実行します。IR リモコンを使用する場合、**OK** スイッチを押します。

オプションを選択すると、その設定値はオレンジ色にハイライトされます。

⑧ ◀ ▶ボタンを使用して、値を変更します。

⑨ **Select** スイッチを押して、変更内容を実行します。IR リモコンを使用する場合、**OK** スイッチを押します。

▼ Telnet Access

Telnet へのアクセスを有効 / 無効にします。

▼ Require Password

Telnet セッション開始前のパスワードの要求を有効 / 無効にします。

▼ Terminal Port

本体の Telnet リスニングポートを設定します。

● UDP 設定の変更

① 前面パネルまたは IR リモコンの **Menu** スイッチを押してメニューシステムを表示します。

② ▲▼スイッチを使用して、**NETWORK** を選択します。

③ **Select** スイッチを押して、**Network** メニューを表示します。IR リモコンを使用する場合、**OK** スイッチを押します。

④ ▲▼スイッチを使用して、**UDP SETTINGS** を選択します。

⑤ 再度 **Enter** ボタンを押して、**UDP SETTINGS** メニューを表示します。IR リモコンを使用する場合、**OK** スイッチを押します。

⑥ ▲▼スイッチを使用して、**UDP ACCESS** を選択します。

⑦ 実行する項目を選択したら、**Select** スイッチで実行します。IR リモコンを使用する場合、**OK** スイッチを押します。

項目を選択すると、その設定値はオレンジ色にハイライトされます。

⑧ ◀ ▶スイッチを使用して、値を変更します。

⑨ **Select** スイッチで変更を実行します。IR リモコンを使用する場合、**OK** ボタンを押します。

▼ UDP Access

UDP へのアクセスを有効 / 無効にします。

▼ UDP Port

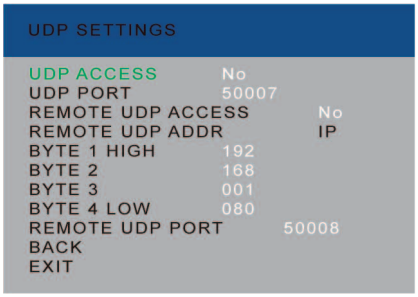
本体の UDP ポートを設定します。

▼ Remote UDP Access

本体のリモート UDP へのアクセスを有効 / 無効にします。

▼ Remote UDP Add

本体のリモート UDP IP アドレスを設定します。



▼ Byte

「Byte 1 High」、「Byte 2」、「Byte 3」、「Byte 4」オプションを使用して、IP アドレス、サブネットマスクとゲートウェイを設定します。

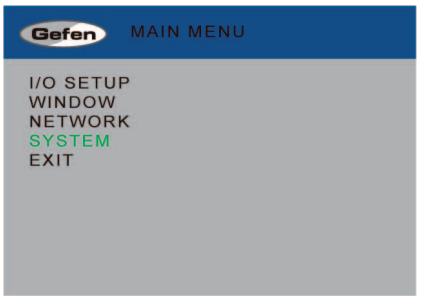
▼ Remote UDP Port

本体のリモコン UDP リスニングポートを設定します。

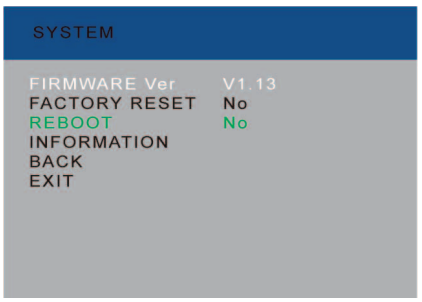
●システム設定

① 前面パネルまたは IR リモコンの **Menu** スイッチを押してメニューシステムを表示します。

② ▲▼スイッチを使用して、**SYSTEM** を選択します。



③ **Select** スイッチを押して、**SYSTEM** メニューを表示します。IR リモコンを使用する場合、**OK** ボタンを押します。



④ ▲▼スイッチを使用して、実行する項目を選択します。

⑤ **Select** スイッチを押して、変更を実行します。IR リモコンを使用する場合、**OK** ボタンを押します。

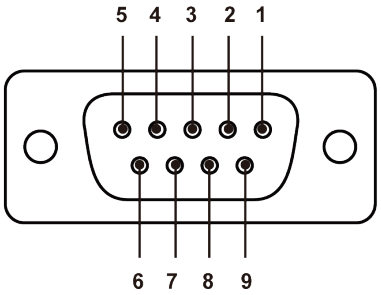
FACTORY RESET を選択すると、本体は工場出荷時の設定にリセットされます。

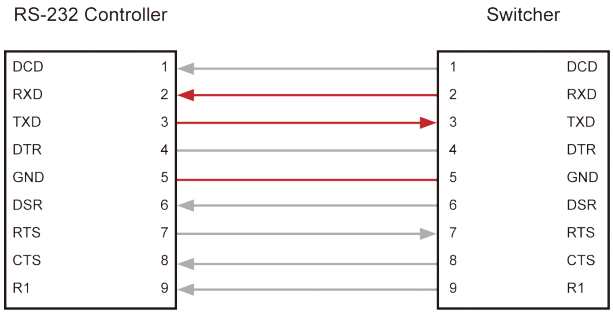
REBOOT を選択すると、本体は再起動されます。この操作は、本体の電源コードを挿し直すと同等です。

◆高度な操作

■ RS-232 と IP の構成

● RS-232 インターフェイス





TXD、RXD、GND ピンのみ使用

● RS-232 の設定

説明	設定
ボーレート	19200
データビット	8
パリティ	なし
停止ビット	1
フロー制御	なし

Telnet または RS-232 コマンドを出力する場合は、必ずキャリッジ・リターン (0d) と改行キャラクター (0a) をコマンドの終わりに追加してください。

● IP/UDP の構成

本機は Telnet、UDP または内蔵ウェブ GUI を使用して、IP 制御をサポートします。IP 制御のセットアップは RS-232 経由で行われます。以下は本機のネットワークのデフォルト設定です。

説明	IP アドレス / ポート	説明	IP アドレス / ポート
IP アドレス	192.168.1.72	UDP ポート	23
サブネット	255.255.255.0	Local UDP ポート	50007
ゲートウェイ	192.168.1.254	リモート UDP IP	192.168.1.255
HTTP ポート	80	リモート UDP ポート	50008

① RS-232 ケーブルを使用して、PC と本体を接続します。イーサーネットケーブルを使用して、本体とネットワークを接続します。

② HyperTerminal などのターミナルエミュレーション・アプリケーションを起動し、前項に記載されている RS-232 の設定を使用して、以下の設定を行います。

③ #set_ipadd コマンドを使用して、本体の IP アドレスを設定します。

④ #set_netmask コマンドを使用して、サブネットマスクを設定します。

⑤ #set_gateway コマンドを使用して、ゲートウェイ (ルーター) の IP アドレスを設定します。

⑥ #set_telnet_port コマンドを使用して、Telnet リスニングポートを設定します。

⑦ #set_http_ port コマンドを使用して、HTTP リスニングポートを設定します。

⑧ #set_udp_remote_ip コマンドを使用して、本体の UDP リモート IP アドレスを設定します。

⑨ #set_udp_ port コマンドを使用して、本体の UDP リスニングポートを設定します。

⑩ #set_udp_ remote _ port コマンドを使用して、本体の UDP リモートポートを設定します。

⑪ 本体を再起動して、行われた変更を実行します。手順 3 にて指定した IP アドレスをウェブブラウザに入力し、ウェブ GUI にアクセスします。同じ IP アドレスを使用して、本体との Telnet 通信を行います。

※ネットワークに応じて、関連する全ての IP、Telnet と UDP の設定を正しく行う必要があります。ネットワークと正しく通信できるよう、ネットワーク管理者に相談してください。

■コマンド一覧

コマンド	説明
#chromakey	クロマキーングエフェクトを有効 / 無効にします。
#chromakey_color	今後のファームウェアリリースで追加されるコマンドです。
#display_telnet_welcome	Telnet ウェルカムメッセージを有効 / 無効にします。
#fade	フェードエフェクトを有効 / 無効にします。
# fadefault	ルーティングとマスキング設定を工場出荷時のデフォルトに戻します。
#help	使用可能なコマンドを一覧表で表示します。
#lock_aspect	全入力のアスペクト比をロックします。
#lock_edid	本体の再起動時に local EDID をロックします。
#mask	出力のマスキングを実行します。
#mirror	ウインドウミラーリングを有効 / 無効にします。
#mute	全出力のミュートを有効 / 無効にします。
#power	本体の電源をオン / オフします。
#reboot	本体を再起動します。
#recall_preset	メモリに特定のルーティングプリセットをメモリに読み込みます。
#rotate	ビデオ信号を回転します。(現時点では対応していません)
#save_preset	メモリにルーティングプリセットを保存します。
#set_bank_name	バンクに名前を割り当てます。
#set_brightness	全出力の輝度レベルを設定します。
#set_contrast	全出力のコントラストレベルを設定します。
#set_edid	入力またはバンクに EDID を割り当てます。
#set_gateway	ゲートウェイアドレスを設定します。
#set_hdcp	HDCP 検出機能を有効 / 無効にします。
#set_hposition	ウインドウの水平位置を設定します。
#set_hsize	ウインドウの水平サイズを設定します。
#set_http_port	HTTP リスニングポートを設定します。
#set_hue	全出力の色合いを設定します。
#set_ipadd	IP アドレスを設定します。
#set_ipmode	IP モード (DHCP または静的) を設定します。
#set_ir	本体の IR チャンネルを設定します。
#set_netmask	サブネットマスクを設定します。
#set_osd	OSD(オンスクリーンディスプレイ) を有効 / 無効にします。
#set_output	出力の解像度を設定します。
#set_ preset _name	プリセットに名前を割り当てます。
#set_priority	ウインドウの順序を設定します。
#set_saturation	出力のサチュレーションを設定します。
#set_tcp_user	今後のファームウェアリリースで追加されるコマンドです。
#set_telnet_pass	Telnet のパスワードを設定します。

コマンド	説明
#set_telnet_port	Telnet のリスニングポートを設定します。
#set_udp_port	local UDP リスニングポートを設定します。
#set_udp_ remote_ip	リモート UDP の IP アドレスを設定します。
#set_udp_remote_port	リモート UDP ポートを設定します。
#set_vposition	ウインドウの垂直位置を設定します。
#set_vsize	ウインドウの垂直サイズを設定します。
#set_webui_ad_pass	ウェブインターフェース のアドミニストレーターパスワードを設定します。
#set_webui_op_pass	ウェブインターフェース のオペレーターパスワードを設定します。
#show_bank_name	EDID バンク名を表示します。
#show_brightness	全出力の輝度値を表示します。
#show_chromakey_color	クロマキーの色成分の最大または最小値を表示します。
#show_contrast	全出力のコントラスト値を表示します。
#show_gateway	ゲートウェイの IP アドレスを表示します。
#show_hdcp	入力の DCP ステータスを表示します。
#show_http_ port	ウェブサーバーのリスニングポートを表示します。
#show_hue	全出力の色合い値を表示します。
#show_ip	現在の本体の IP アドレスを表示します。
#show_ipconfig	現在の本体の TCP/IP 設定を表示します。
#show_ipmode	現在の IP モード (DHCP または静的) を表示します。
#show_ir	現在の本体の IR チャンネルを表示します。
#show_mac_addr	本体の MAC アドレスを表示します。
#show_netmask	現在のサブネットマスクを表示します。
#show_osd	OSD(オンスクリーンディスプレイ) 表示を有効 / 無効にします。
#show_output	出力の解像度を表示します。
#show_power	本体の電源のステータスを表示します。
#show_preset_name	プリセット名を表示します。
#show_saturation	全出力のサチュレーション値を表示します。
#show_tcp_ access	現在の TCP のアクセスステータスを表示します。
#show_telnet_ port	現在の Telnet ポートを表示します。
#show_udp_ port	現在の UDP シリアルポートを表示します。
#show_udp_remote_ip	現在の UDP リモートの IP アドレスを表示します。
#show_udp_remote_port	現在の UDP リモートポートを表示します。
#show_ver_data	現在のハードウェアとソフトウェアバージョンを表示します。
#unmask	出力のマスキングを解除します。
#use_tcp_access	Telnet へのアクセスを有効 / 無効にします。
#use_telnet_pass	Telnet セッションにパスワード認証を強要します。
#use_udp_access	UDP へのアクセスを有効 / 無効にします。
m	本体のルーティングステータスを表示します。
r	特定の入力を出力にルートにルートします。
s	特定の入力を全出力にルートします。

● #chromakey

#chromakey コマンドはクロマキーング機能を有効 / 無効にします。このコマンドは単入力 (全画面) 表示のみに有効です。マルチウインドウ表示中にこのコマンドを実行するとエラーになります。

構文.....#chromakey param1

パラメーター .....param1　　値 [0 ... 1]

値	説明
0	無効にする。
1	有効にする。

構文例.....#chromakey 1

クロマキーエフェクトは有効です

※マルチウインドウ表示中に実行すると：

#chromakey 1

CURRENT ROUTING STATE IS WRONG!

● #chromakey_color

今後のファームウェアリリースで追加されるコマンドです。

● #display_telnet_welcome

#display_telnet_welcome コマンドは、Telnet ウェルカムメッセージを有効 / 無効にします。

構文.....#display_telnet_welcome param1

パラメーター .....param1　　値 [0 ... 1]

値	説明
0	無効にする。
1	有効にする。

構文例.....#display_telnet_welcome 1

ウェルカムメッセージは有効です。

この設定が有効の場合、Telnet セッションを開始すると、以下メッセージが表示されます：

Welcome to EXT-HD-MVSL-441 TELNET

● #fade

#fade コマンドはフェードエフェクトを有効 / 無効にいます。

構文.....#fade param1

パラメーター .....param1　　値 [0 ... 1]

値	説明
0	無効にする。
1	有効にする。

構文例.....#fade 1

フェードエフェクトは有効です。

● #fadefault

#fadefault コマンドは本機を工場出荷時の設定に戻します。出力のマスキングは解除され、全ての IP と UDP 設定はデフォルト設定にリセットされます。

構文.....#fadefault

パラメーター .....なし

構文例.....#fadefault

● #help

#help コマンドは使用可能な RS-232/Telnet コマンドを表示します。param1 を使用すると、特定のコマンドのヘルプ情報が表示されます。

構文.....#help param1

パラメーター .....param1　コマンド名 (オプション)　[STRING]

構文例.....#help #sipadd

SET IP ADDRESS

#SIPADD PARAM1

PARAM1 = XXX.XXX.XXX.XXX

WHERE XXX: 0 - 255

● #lock_aspect

#lock_aspect コマンドは全入力のアスペクト比をロック / 解除します。このコマンドは複数入力 (マルチウインドウ) 表示のみに有効です。シングルウインドウ表示中にこのコマンドを実行するとエラーになります。

構文.....#lock_aspect param1

パラメーター .....param1　値　[0 ... 1]

値	説明
0	ロックを解除する。
1	ロックする。

構文例.....#lock_aspect 1

アスペクト比をロックします。

※シングルウインドウ表示中に実行すると：

#lock_aspect 1

CURRENT ROUTING STATE IS WRONG!

● #lock_edid

#lock_edid コマンドは、本体の電源を ON にした際に、ダウンストリーム EDID の自動読込み機能を無効にして、Local EDID を固定します。

構文.....#lock_edid param1

パラメーター .....param1 値 [0 ... 1]

値	説明
0	EDID ロックを解除する。
1	EDID をロックする。

構文例.....#lock_edid 1

EDID をロックします。

● #mask

#mask コマンドは出力ビデオをマスキングします。#unmask コマンドを使用して、出力をマスキングします。param1 = 0 の場合、全ての出力はマスキングされます。

構文.....#mask param1

パラメーター .....param1　出力　[0 ... 4]

構文例.....#mask 1

出力 A をマスキングします。

#mask 0

全ての出力をマスキングします。

● #mirror

#mirror コマンドはウインドウのミラーリング機能を有効 / 無効にします。このコマンドはウインドウ出力「A」の画面を水平に反転します (Y 軸を中心に 180˚ 回転)。

構文.....#mirror param1

パラメーター .....param1　値　[0 ... 1]

値	説明
0	無効にする。
1	有効にする。

構文例.....#mirror 1

ミラーリング機能を有効にします。

● #mute

#mute コマンドは全出力のオーディオをミュート / 解除します。

構文.....#mute param1

パラメーター .....param1　値　[0 ... 1]

値	説明
0	ミュートを解除する。
1	ミュートする。

構文例.....#mute 1

オーディオ信号をミュートします。

● #power

#power コマンドは本体の電源をオン / オフします。

構文.....#power param1

パラメーター .....param1　値　[0 ... 1]

値	説明
0	オフ
1	オン

構文例.....#power 0
電源 OFF にします。
#power 1
電源を ON にします。

● #reboot

#reboot コマンドは本体を再起動します。この操作は本体背面にある電源コードを挿し直すと同等です。IP 設定を変更した後は必ず本体を再起動してください。

構文.....#reboot

パラメーター .....なし

構文例.....#reboot
DEVICE HAS BEEN REBOOTED
IP: 192.168.5.155
Netmask: 255.255.255.0
Gateway: 192.168.5.254
ETHERNET CABLE Plug in!!

● #recall_preset

#recall_preset コマンドはルーティングプリセットを呼び出します。

構文.....#recall_preset param1

パラメーター .....param1　プリセット　[1 ... 10]

構文例.....#recall_preset 2
INPUT 4 IS ROUTED TO WINDOW OUTPUT A
RECALL ROUTING STATE PRESET 2

● #rotate

#rotate コマンドは今後のファームウェアリリースで追加されます。

● #save_preset

#save_preset コマンドは現在のルーティングステータスを指定のプリセットに保存します。

構文.....#save_preset param1

パラメーター .....param1　　プリセット　[1 ... 10]

構文例.....#save_preset 1
現在のルーティングステータスをプリセット 1 に保存します。

● #set_bank_name

#set_bank_name コマンドはバンクに名前を割り当てます。

構文.....#set_bank_name param1 param2

パラメーター .....param1　　バンク　[1 ... 8]
param2　　名　[STRING]

構文例.....#set_bank_name 5 Dell_24
バンク 5 の名称を Dell_24 に設定します。

● #set_brightness

#set_brightness コマンドは出力のビデオ信号の輝度レベルを設定します。

構文.....#set_brightness param1

パラメーター .....param1　Level　[0 ... 100]

構文例.....#set_brightness 65
出力 1 の輝度レベルを 65 に設定します。

● #set_contrast

#set_contrast コマンドは出力ビデオ信号のコントラストレベルを設定します。

構文.....#set_contrast param1 param2

パラメーター .....param1　preset　[1 ... 10]
param2　Level　[0 ... 100]

構文例.....#set_contrast 74
出力 A のコントラストレベルを 74 に設定します。

● #set_edid

#set_edid コマンドは入力またはバンクに EDID の種類を指定します。

構文.....#set_edid param1 param2 param3 param4

パラメーター .....param1　　ソース機器　[STRING]

値	説明
int	デフォルト (内部)EDID を使用する。
Bank	EDID バンクを使用する。
Output	出力 (シンク機器) の EDID を使用する。

param2　ソース機器　[1 ... 8]

値	説明
1 ... 4	1 = 720p / 2CH 2 = 720p / マルチチャンネル 3 = 1080p / 2CH 4 = 1080p / マルチチャンネル
1 ... 8	EDID バンク
1 ... 4	出力

param3　対象　[STRING]

値	説明
Input	入力を指定する。
Bank	EDID バンクを指定する。

param4　対象　[1 ... 8]

値	説明
1 ... 4	入力
1 ... 8	EDID バンク

構文例.....#set_edid int 2 INPUT 4
入力 4 に内部 EDID2 を保存します。
#set_edid BANK 3 BANK 5
バンク 5 に EDID3 を保存します。

● #set_gateway

#set_gateway コマンドはゲートウェイアドレスを設定します。設定の際は必ずドットを使用してください。コマンドの実行後は必ず本体を再起動してください。なお、ゲートウェイのデフォルト設定は 192.168.1.1 です。

構文.....#set_gateway param1

パラメーター .....param1 ゲートウェイ

構文例.....#set_gateway 192.168.1.5
GATEWAY : 192.168.1.5

● #set_hdcp

#set_hdcp コマンドは入力の HDCP パススルー機能を有効 / 無効にします。param1 = 0 の場合、全入力が有効 / 無効になります。

構文.....#set_hdcp param1 param2

パラメーター .....param1　入力　[1 ... 4]
param2　値　[0 ... 1]

値	説明
0	無効にする。
1	有効にする。

構文例.....#set_hdcp 1 1
入力 1 の HDCP パススルー機能を有効にします。
#set_hdcp 0
全ての入力の HDCP パススルー機能を無効にします。

● #set_hposition

#set_hposition コマンドは特定のウインドウの水平位置を設定します。param2 はウインドウの水平ピクセルの解像度です。このコマンドはマルチウインドウのみに有効です。シングルウインドウ中にこのコマンドを実行するとエラーになります。

構文.....#set_hposition param1 param2

パラメーター .....param1　　ウインドウ　[1 ... 4]
param2　　水平ピクセル (アクティブ)　0 ... n]

構文例.....#set_hposition 1 300
ウインドウ 1 の水平ピクセル解像度を 300 ピクセルに設定します。

※シングルウインドウの表示にコマンドを実行した場合：
#set_hposition 1 300
CURRENT ROUTING STATE IS WRONG!

● #set_hsize

#set_hsize コマンドは特定のウインドウの水平サイズを設定します。param2 はウインドウの水平ピクセルの解像度です。このコマンドはマルチウインドウのみに有効です。シングルウインドウ中にこのコマンドを実行するとエラーになります。

構文.....#set_hsize param1 param2

パラメーター .....param1　　ウインドウ　[1 ... 4]
param2　　水平ピクセル (アクティブ)　[0 ... n]

構文例.....#set_hsize 1 600
ウインドウ 1 の水平サイズを 600 ピクセルに設定します。

※シングルウインドウの表示にコマンドを実行した場合：
#set_hsize 1 600
CURRENT ROUTING STATE IS WRONG!

● #set_http_port

#set_http_port コマンドはウェブサーバーのリスニングポートを指定します。コマンドの実行後は必ず本体を再起動してください。なお、デフォルトポートは 80 です。#show_http_port コマンドを使用して、現在の HTTP リスニングポートを表示します。

構文.....#set_http_port param1

パラメーター .....param1　　ポート　[1 ... 1024]

構文例.....#set_http_port 82
HTTP ポートを 82 に設定します。

● #set_hue

#set_hue コマンドは出力の色合いを設定します。

構文.....#set_hue param1

パラメーター .....param1　値　[0 ... 100]

構文例.....#set_hue 30
出力 A の色合い値を 30 に設定します。

● #set_ipadd

#set_ipadd コマンドは本体の IP アドレスを設定します。設定する際は必ずドットを使用してください。コマンドの実行後は必ず本体を再起動してください。なお、IP アドレスのデフォルト設定は 192.168.1.72 です。#show_ipconfig または #show_ip コマンドをで現在の IP アドレスを表示します。

構文.....#set_ipadd param1

パラメーター .....param1　IP アドレス

構文例.....#set_ipadd 192.168.1.190
IP ADDRESS : 192.168.1.190

● #set_ipmode

#set_ipmode コマンドは IP モードを DHCP または静的 (static) に設定します。コマンド実行後は必ず本体を再起動してください。

構文.....#set_ipmode param1

パラメーター .....param1　　値　[0 ... 1]

値	説明
0	静的
1	DHCP

構文例.....#set_ipmode 1
IP モード IS SET TO STATIC
PLEASE REBOOT TO ACTIVATE!!!

● #set_ir

#set_ir コマンドは今後のファームウェアリリースで追加されます。

● #set_netmask

#set_netmask コマンドはサブネットマスクを設定します。設定には必ずドットを使用し、コマンド実行後は必ず本体を再起動してください。 サブネットマスクのデフォルト設定は 255.255.255.0 です。#show_netmask または #show_ipconfig コマンドで現在のサブネットマスクを表示します。

構文.....#set_netmask param1

パラメーター .....param1　　サブネットマスク

構文例.....#set_netmask 255.255.255.0
NETMASK : 255.255.255.0

● #set_osd

#set_osd コマンドは OSD(オンスクリーンディスプレイ) を有効 / 無効にします。なお、デフォルト設定は有効です。

構文.....#set_osd param1

パラメーター .....param1　値　[0 ... 1]

値	説明
0	無効
1	有効

構文例.....#set_osd 0
OSD IS SET TO OFF

● #set_output

#set_output コマンドは出力の解像度を設定します。指定された解像度は全出力に設定されます。

構文.....#set_output param1

パラメーター .....param1　　値　[0 ... 16]

値	説明
0	480p
1	576p
2	720p @ 50 Hz
3	720p @ 60 Hz
4	1080p @ 24 Hz
5	1080p @ 50 Hz
6	1080p @ 60 Hz
7	1024 x 768
8	1280 x 800
9	1280 x 1024
10	1366 x 768
11	1440 x 900
12	1600 x 900
13	1600 x 1200
14	1680 x 1050
15	1920 x 1200
16	ネイティブ

構文例.....#set_output 3
出力解像度を 720p60Hz に設定します。

● #set_preset_name

#set_preset_name コマンドはプリセットに名前を割り当てます。プリセット名は最大 8 桁です。8 桁以降は省略されます。#show_preset_name コマンドを使用して、プリセット名を表示します。なお、プリセット 1 ～ 5 は名前を変更できません。

構文.....#set_preset_name param1 param2

パラメーター .....param1　　プリセット　[6 ... 20]
param2　　名　[STRING]

構文例.....#set_preset_name 8 MyWinCfg
プリセット 8 の名称を MyWinCfg に設定します。

● #set_priority

#set_priority コマンドはウインドウの順序を指定します。1 番に割り当てられたウインドウは最前面に現れ、4 番に割り当てられたウインドウは最後面に現れます。詳しくは 13 ページ「ウインドウの順序」を参照してください。

構文.....#set_priority param1 param2

パラメーター .....param1　　ウインドウ　[1 ... 4]
param2　　順序　[1 ... 4]

構文例.....#set_priority 2 1
ウインドウ 2 を最前面に設定します。

● #set_saturation

#set_saturation コマンドは全出力のカラーサチュレーションレベルを設定します。

構文.....#set_saturation param1

パラメーター .....param1　　Level　　[0 ... 100]

構文例.....#set_saturation 65
出力 A のサチュレーションレベルを 65 に設定します。

● #set_tcp_user

今後のファームウェアリリースで追加されるコマンドです。。

● #set_telnet_pass

#set_telnet_pass コマンドは Telnet のパスワードを設定します。パスワードは最大 10 桁です。

構文.....#set_telnet_pass param1

パラメーター .....param1　　Password　　[STRING]

構文例.....#set_telnet_pass Fl0ti11a
Telnet パスワードを Fl0ti11a に設定します。

● #set_telnet_port

#set_telnet_port コマンドは Telnet リスニングポートを設定します。コマンドの実行後は必ず本体を再起動してください。ポートのデフォルト設定は 23 です。#show_telnet_port コマンドを使用して、現在の Telnet リスニングポートを表示します。

構文.....#set_telnet_port param1

パラメーター .....param1　　ポート　　[1 ... 1024]

構文例.....#set_telnet_port 24
Telnet リスニングポートを 24 に設定します。

● #set_udp_port

#set_udp_port コマンドは UDP リスニングポートを設定します。

構文.....#set_udp_port param1

パラメーター .....param1　　ポート　　[1 ... 1024]

構文例.....#set_udp_port 1002
UDP COMMUNICATION PORT 1002 IS SET
PLEASE REBOOT THE UNITS

● #set_udp_remote_ip

#set_udp_remote_ip コマンドはリモート UDP の IP アドレスを設定します。設定する際は必ずドットを使用してください。リモート UDP の IP アドレスのデフォルト IP アドレスは 92.168.1.255 です。コマンドの実行後は必ず本体を再起動してください。

構文.....#set_udp_remote_ip param1

パラメーター .....param1　　UDP アドレス

構文例.....#set_udp_remote_ip 192.168.1.227
UDP の IP アドレスを 192.168.1.227 に設定します。

● #set_udp_remote_port

#set_udp_remote_port コマンドはリモート UDP リスニングポートを設定します。リモート UDP リスニングポートのデフォルトは 50008 です。コマンドの実行後は必ず本体を再起動してください。

構文.....#set_udp_remote_port param1

パラメーター .....param1　　ポート　　[0 ... 65535]

構文例.....#set_udp_remote_port 50008
リモート UDP リスニングポートを 50008 に設定します。

● #set_vposition

#set_vposition コマンドは特定のウインドウの垂直位置を設定します。param2 はウインドウの垂直ピクセルの解像度です。このコマンドはマルチウインドウのみに有効です。シングルウインドウ中にこのコマンドを実行するとエラーになります。

構文.....#set_vposition param1 param2

パラメーター .....param1　　ウインドウ　　[1 ... 4]
param2　　垂直ピクセル (アクティブ)　　[0 ... n]

構文例.....#set_vposition 2 100
ウインドウ 2 の垂直位置の解像度を 100 ピクセルに設定します。

※シングルウインドウの表示にコマンドを実行した場合：
#set_vposition 2 100
CURRENT ROUTING STATE IS WRONG!

● #set_vsize

#set_vsize コマンドは特定のウインドウの垂直サイズを設定します。param2 はウインドウの垂直ピクセルの解像度です。このコマンドはマルチウインドウのみに有効です。シングルウインドウ中にこのコマンドを実行するとエラーになります。

構文.....#set_vsize param1 param2

パラメーター .....param1　　ウインドウ　　[1 ... 4]
param2　　垂直ピクセル (アクティブ)　　[0 ... n]

構文例.....#set_vsize 3 250
ウインドウ 3 の垂直サイズの解像度を 250 ピクセルに設定します。

※シングルウインドウの表示にコマンドを実行した場合：
#set_vsize 3 250
SET VERTICAL STRETCH VALUE TO 250 PIXELS FOR WINDOW 3

● #set_webui_ad_pass

#set_webui_ad_pass コマンドはウェブ GUI のアドミニストレーターパスワードを設定します。パスワードは最大 8 桁です。大文字と小文字の区別があります。なお、デフォルトパスワードは「Admin」です。

構文.....#set_webui_ad_pass param1

パラメーター .....param1　　パスワード

構文例.....#set_webui_ad_pass bossman
ウェブ GUI のアドミニストレーターパスワードを bossman に設定します。

● #set_webui_op_pass

#set_webui_ad_pass コマンドはウェブ GUI のオペレーターパスワードを設定します。なお、デフォルトパスワードは「Admin」です。

構文.....#set_webui_op_pass param1

パラメーター .....param1　　パスワード

構文例.....#set_webui_op_pass minion
ウェブＧＵＩのオペレーターパスワードを minion に設定します。

● #show_bank_name

#show_bank_name コマンドは特定の EDID バンク名を表示します。#set_bank_name コマンドを使用して、EDID バンクに名前を割り当てます。

構文.....#show_bank_name param1

パラメーター .....param1　　バンク　　[1 ... 8]

構文例.....#show_bank_name 5
THE NAME FOR BANK5 IS : Dell24

● #show_brightness

#show_brightness コマンドは特定のウインドウの輝度レベルを表示します。

構文.....#show_brightness param1

パラメーター .....なし

構文例.....#show_brightness 2
INPUT 2 IS SET TO BRIGHTNESS VALUE : 50

● #show_chromakey_color

#show_chromakey_color コマンドはクロマキーの色成分の最小値 / 最大値を表示します。

構文.....#show_chromakey_color param1 param2

パラメーター .....param1　　色チャンネル　　[CHAR]

値	説明
r	赤色
g	緑色
b	青色

param2　　色範囲　　[STRING]

値	説明
min	最小値
max	最大値

構文例.....#show_chromakey_color r max
CHROMA KEY VALUE FOR R MAX IS SET TO 255

● #show_contrast

#show_contrast コマンドは全出力のコントラストレベルを表示します。

構文.....#show_contrast

パラメーター .....なし

構文例.....#show_contrast
OUT A CONTRAST VALUE : 74

● #show_gateway

#show_gateway コマンドは本体の現在設定しているゲートウェイアドレスを表示します。#set_gateway コマンドを使用して、ゲートウェイアドレスを設定します。

構文.....#show_gateway

パラメーター .....なし

構文例.....#show_gateway
GATEWAY : 192.168.1.11

● #show_hdcp

#show_hdcp コマンドは現在の入力または出力の HDCP 設定を表示します。

構文.....#show_hdcp param1

パラメーター .....param1　値　[0 ... 1]

値	説明
0	入力信号をクエリー
1	出力信号をクエリー

構文例.....#show_hdcp 0
HDCP INPUT IS SET TO ACCEPT
#show_hdcp 1
HDCP OUTPUT IS SET TO FOLLOW INPUT

● #show_http_port

#show_http_port コマンドは本体の HTTP リスニングポートを表示します。#set_http_port コマンドを使用して、HTTP リスニングポートを設定します。

構文.....#show_http_port

パラメーター .....なし

構文例.....#show_http_port
HTTP PORT IS 80

● #show_hue

#show_hue コマンドは全出力の色合いの設定を表示します。

構文.....#show_hue

パラメーター .....param1　　出力

構文例.....#show_hue
OUT A HUE VALUE : 30

● #show_ip

#show_ip コマンドは本体の現在設定している IP アドレスを表示します。

構文.....#show_ip

パラメーター .....なし

構文例.....#show_ip
IP ADDRESS : 192.168.1.190

● #show_ipconfig

#show_ipconfig コマンドは現在の TCP/IP の設定を表示します。

構文.....#show_ipconfig

パラメーター .....なし

構文例.....#show_ipconfig
IP CONFIGURATION IS:
(STATIC)
　IP : 192.168.1.190
NETMASK : 255.255.255.0
GATEWAY : 192.168.1.11
MAC ADDRESS = 00:1c:91:03:b0:00

● #show_ipmode

#show_ipmode コマンドは現在の IP モードを表示します。#set_ipadd コマンドを使用して、IP モードを設定します。

構文.....#show_ipmode

パラメーター .....なし

構文例.....#show_ipmode
IP MODE IS SET TO STATIC

● #show_ir

#show_ir コマンドは本体の IR チャンネルを表示します。

構文.....#show_ir

パラメーター .....なし

構文例.....#show_ir
IR CHANNEL IS SET TO 0

● #show_mac_addr

#show_mac_addr コマンドは本体の MAC アドレスを表示します。

構文.....#show_mac_addr

パラメーター .....なし

構文例.....#show_mac_addr
MAC ADDRESS IS 00:1c:91:03:b0:00

● #show_netmask

#show_netmask コマンドは現在の HD ビデオウォールコントローラーネットマスクを表示します。

#set_netmask コマンドを使用して、ネットマスクを設定します。

構文.....#show_netmask

パラメーター .....なし

構文例.....#show_netmask
NETMASK : 255.255.255.0

● #show_osd

#show_osd コマンドは現在の OSD ステータス (オン / オフ) を表示します。

構文.....#show_osd

パラメーター .....なし

構文例.....#show_osd
OSD IS SET TO ON

● #show_output

#show_output コマンドは現在の出力解像度を表示します。#set_output コマンドを使用して、出力の解像度を設定します。

構文.....#show_output

パラメーター .....なし

構文例.....#show_output
OUTPUT RESOLUTION IS SET TO 1280x720P 60HZ

● #show_power

#show_power コマンドは現在の電源のステータスを表示します。#power コマンドを使用して、本体の電源をオン / オフします。

構文.....#show_power

パラメーター .....なし

構文例.....#show_power
POWER IS ON

● #show_preset_name

#show_preset_name コマンドは特定のプリセット名を表示します。#set_preset_name コマンドを使用して、プリセット名を割り当てます。

構文.....#show_preset_name param1

パラメーター .....param1　　プリセット　　[6 ... 20]

構文例.....#show_preset_name 8
THE NAME FOR PRESET 8 IS:MyWinCfg

● #show_saturation

#show_saturation コマンドは全出力のサチュレーションを表示します。#set_saturation コマンドを使用して、出力の解像度を設定します。

構文.....#show_saturation param1

パラメーター .....param1　　入力　　[1 ... 4]

構文例.....#show_saturation
INPUT 1 IS SET TO SATURATION VALUE 65

● #show_tcp_access

#show_tcp_access コマンドは現在の TCP へのアクセスステータス (有効 / 無効) を表示します。#set_tcp_access コマンドを使用して、TCP へのアクセスを有効 / 無効にします。

構文.....#show_tcp_access

パラメーター .....なし

構文例.....#show_tcp_access
TCP ACCESS IS DISABLED

● #show_telnet_port

#show_telnet_port コマンドは現在の Telnet ポートを表示します。#set_telnet_port コマンドを使用して、Telnet リスニングポートを設定します。

構文.....#show_telnet_port

パラメーター .....なし

構文例.....#show_telnet_port
TELNET PORT IS 23

● #show_udp_port

#show_udp_port コマンドは現在の UDP シリアルポートを表示します。#set_udp_port コマンドを使用して、UDP リスニングポートを設定します。

構文.....#show_udp_port

パラメーター .....なし

構文例.....#show_udp_port
UDP COMMUNICATION PORT IS: 1002

● #show_udp_remote_ip

#show_udp_remote_ip コマンドは現在のリモコン UDP アドレスを表示します。#set_udp_remote_ip コマンドを使用して、リモコン UDP アドレスを設定します。

構文.....#show_udp_remote_ip

パラメーター .....なし

構文例.....#show_udp_remote_ip
UDP REMOTE IP ADDRESS : 192.168.1.227

● #show_udp_remote_port

#show_udp_remote_port コマンドは現在のリモート UDP ポートを表示します。#set_udp_remote_port コマンドを使用して、リモート UDP ポートを設定します。

構文.....#show_udp_remote_port

パラメーター .....なし

構文例.....#show_udp_remote_port
REMOTE UDP COMMUNICATION PORT IS: 508

● #show_ver_data

#show_ver_data コマンドは現在のソフトウェアとハードウェアバージョンを表示します。

構文.....#show_ver_data

パラメーター .....なし

構文例.....#show_ver_data
SOFTWARE AND HARDWARE VERSION:V1.13

● #unmask

#unmask コマンドは特定の出力のマスキングを解除します。#mask コマンドを使用して、特定の出力のマスキング機能を有効にします。param1 = 0 の場合、全出力の 7 マスキング機能は解除されます。

構文.....#unmask param1

パラメーター .....param1　出力　[0 ... 4]

構文例.....#unmask 2
ウインドウ 2 のマスキングを解除します。

● #use_tcp_access

#use_tcp_access コマンドは Telnet へのアクセスを有効 / 無効にします。

構文.....#use_tcp_access param1

パラメーター .....param1　値　[0 ... 1]

値	説明
0	Telnet へのアクセスを無効にする。
1	Telnet へのアクセスを有効にする。

構文例.....#use_tcp_access 1
Telnet アクセスを有効にします。

● #use_telnet_pass

Telnet セッションにパスワード認証を強要します。デフォルト設定は無効です。#set_telnet_pass コマンドを使用して、Telnet パスワードを設定します。

構文.....#use_telnet_pass param1

パラメーター .....param1　値　[0 ... 1]

値	説明
0	パスワードを無効にする。
1	パスワードを有効にする。

構文例.....#use_telnet_pass 1
Telnetセッションのパスワードを有効にします。

● #use_udp_access

#use_udp_access コマンドは UDP へのアクセスを有効 / 無効にします。

構文.....#use_udp_access param1

パラメーター .....param1.....値　[0 ... 1]

値	説明
0	UDP へのアクセスを無効にする。
1	UDP へのアクセスを有効にする。

構文例.....#use_udp_access 1
UDPアクセスを有効にします。

● m

m コマンドは本体の入出力切替ステータスを表示します。また、本体のマスキングやロックのステータスも表示されます。コマンドの前に記号「#」を入力する必要はありません。

構文.....m

パラメーター .....なし

構文例.....m
INPUT 1 IS ROUTED TO WINDOW OUTPUT A
INPUT 2 IS ROUTED TO WINDOW OUTPUT B
INPUT 3 IS ROUTED TO WINDOW OUTPUT C
INPUT 4 IS ROUTED TO WINDOW OUTPUT D

● r

r コマンドは特定の入力を特定の出力に切替えます。コマンドの前に記号「#」を入力する必要はありません。s コマンドも参照してください。param2 = 0 の場合、入力 (param1) は全ての出力に割り当てられます。

構文.....r param1 param2

パラメーター .....param1　入力　[1 ... 4]
param2　出力　[0, A ... D]

構文例.....r 3 a
入力 3 はウインドウ出力 A にルーティングします。
r 1 0
入力 1 は全ての出力にルーティングします。

● s

s コマンドは特定の入力を全出力に割り当てられます。コマンドの前に記号「#」を入力する必要はありません。

構文.....s param1

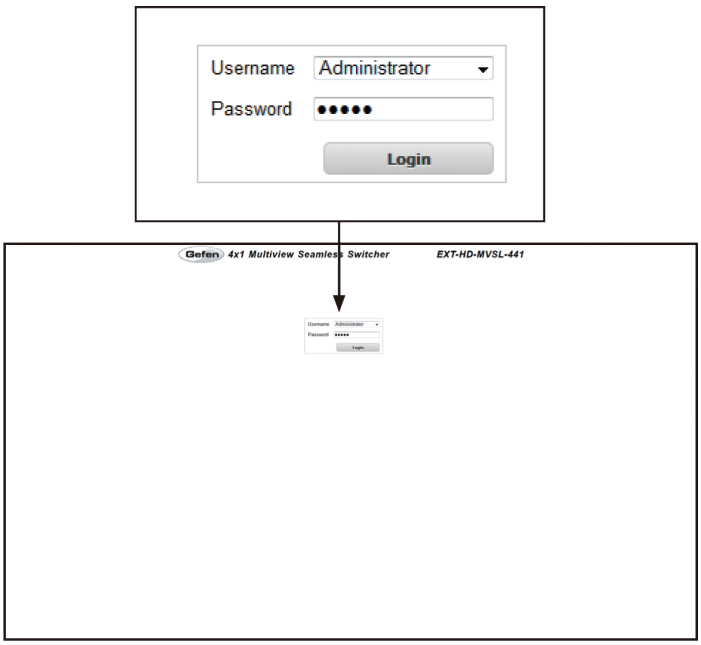
パラメーター .....param1　入力　[1 ... 4]

構文例.....s 2
入力 2 を全ての出力に割り当てます。

■ウェブインターフェース

●内蔵ウェブインターフェース の使用

本体の IP アドレスを入力して、内蔵ウェブインターフェース にアクセスします。詳しくは 29 ページ「● IP/UDP の構成」を参照してください。本体に接続すると、ログイン画面が表示されます。



▼ User Name

ドロップダウンリストからユーザー名を選択します。

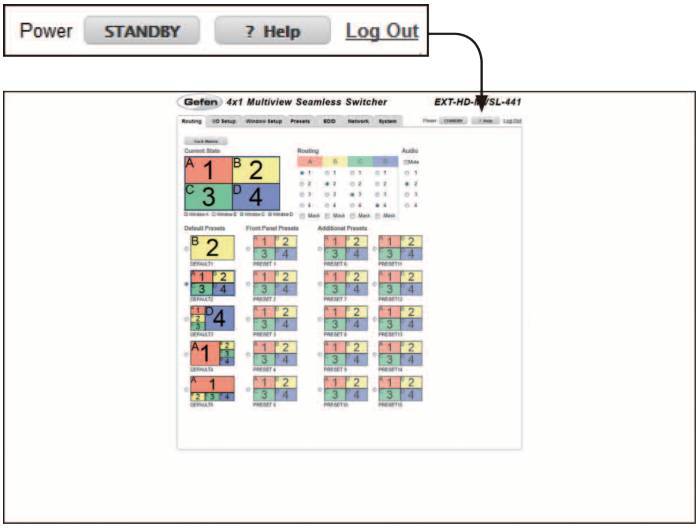
オプション.....Operator、Administrator
※「Administrator」ログインは全ての機能や設定へのアクセスが無制限です。「Operator」ログインはルーティング、ディスプレイ情報やルーティングプリセット機能のみアクセス可能となります。

▼ Password

ユーザーのパスワードを入力します。#set_webui_op_pass と #set_webui_ad_pass コマンドを使用して、パスワードを設定します。入力の再にパスワードはマスクされます。デフォルトパスワードは「Admin」です。

ウェブインターフェースは【Routing、I/O Setup、Window Setup、Presets、EDID、Network、System】の全 7 ページで構成されています。画面上部のタブをクリックすると各メインページが開きます。EDID ページには、固有のサブタブが含まれています。

Administrator でログインすると全てのページにアクセスできます。Operator でログインすると【Routing】タブ以外にはアクセスできません。



● Routing

▼ Power

本体の電源をオン / オフします。電源がオンの時は「STANDBY」と表示されます。

▼ ? Help

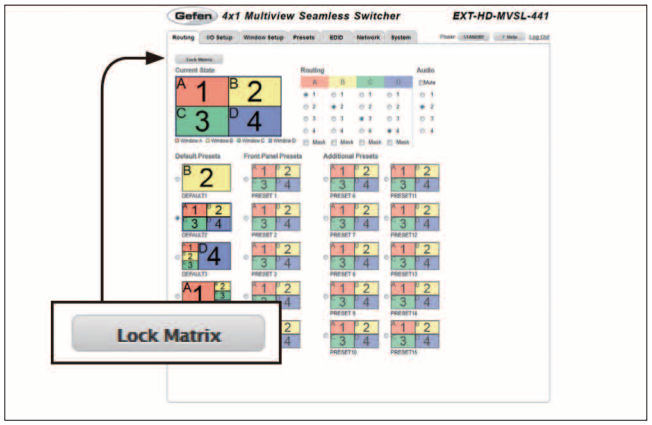
コンテクストに応じたヘルプ情報が表示されます。このボタンは全てのページにあります。

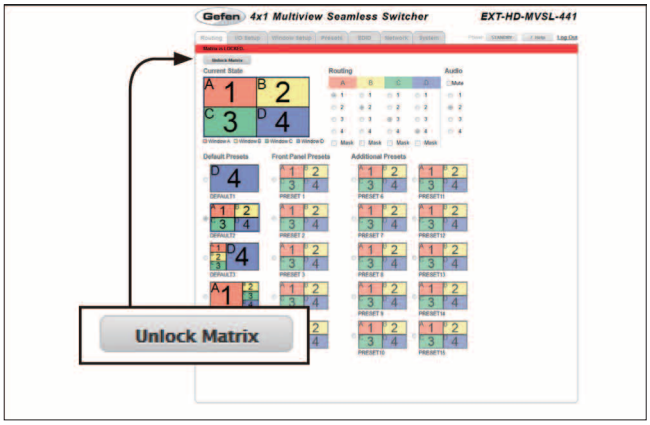
▼ Log Out

現在のウェブセッションを終了し、ログイン画面に戻ります。

▼ Lock Matrix

本体のロック / ロック解除します。既にロックされている場合、前面パネルまたはウェブ GUI 経由で設定の変更はできません。本体のロック中、ボタンには「Unlock Matrix」と表示され、画面上部の赤いバーに「Matrix is LOCKED」が表示されます。「Unlock Matrix」ボタンをクリックすると、本体のロックは解除されます。





▼ Current preset

メモリに読み込んだ現在のプリセットを表示します。

各ウインドウの縁は色別になっています。各ウインドウの左上角にある文字は出力を表します。

各ウインドウ出力に表示される入力は「1」～「4」となります。

▼ Routing

ラジオボタンをクリックして、入力を選択します。各コラムは出力を表します。

▼ Mask

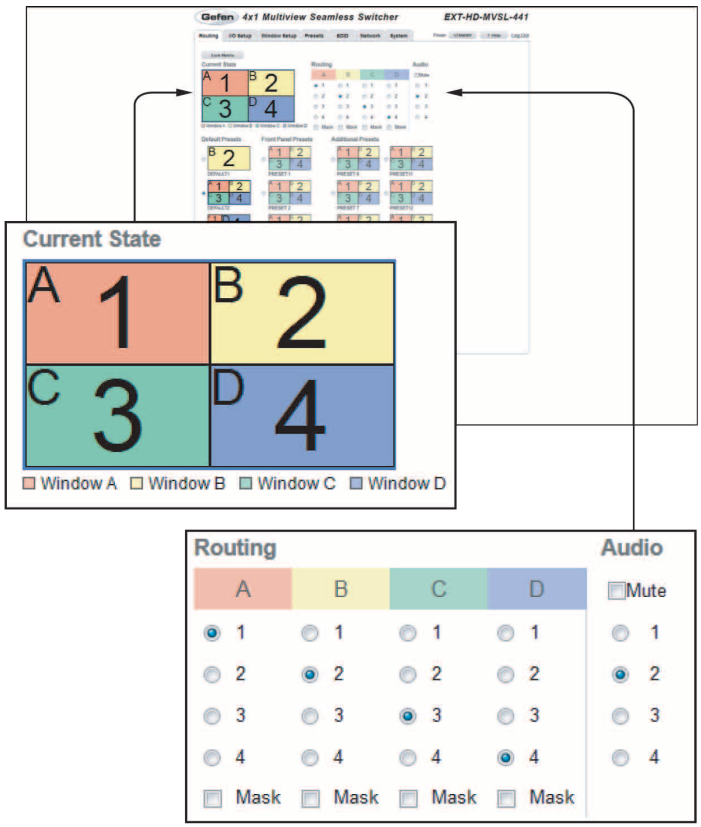
チェックボックスをチェックして、マスキングする出力を選択します。チェックボックスをクリアすると、マスキングは解除されます。

▼ Audio

ラジオボタンをクリックして、オーディオソースとして使用する入力を選択します。

▼ Mute

チェックボックスをチェックして、入力をミュートします。チェックボックスをクリアすると、ミュートは解除されます。

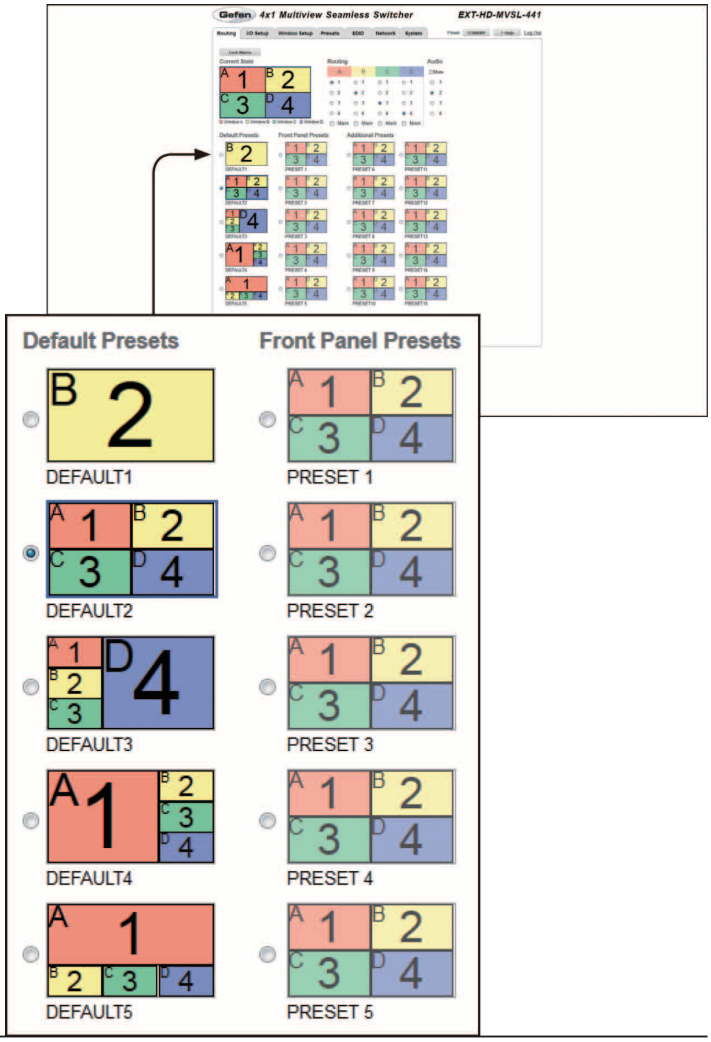


▼ Default Presets

ラジオボタンをクリックして、プリセットを選択します。デフォルトプリセットは前面パネルのデフォルトプリセットボタンと同じ動作を行います。「DEFAULT1」プリセットが選択された場合、追加の画像調整情報が表示されます。これらの機能について、詳しくは次項を参照してください。

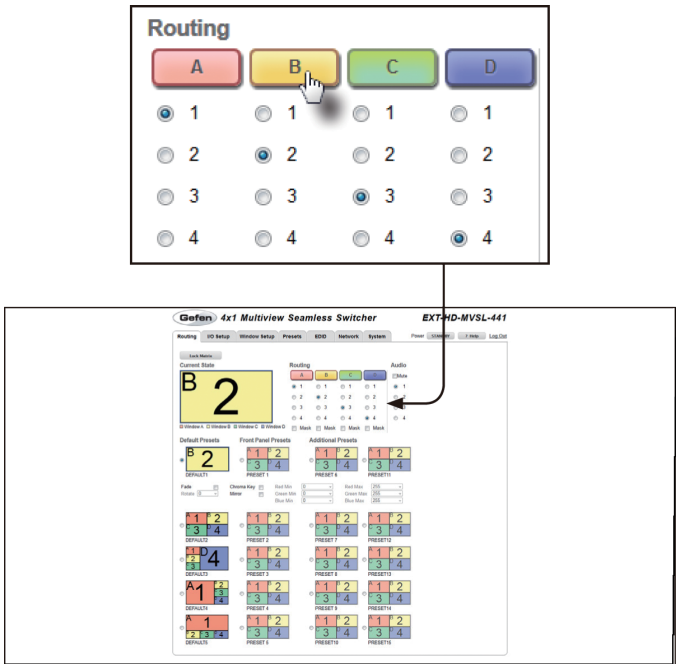
▼ Front Panel Presets

ラジオボタンをクリックして、プリセットを選択します。これらのプリセットは前面パネルのカスタムボタンと同じ動作を行います。



▼ Rounting(DEFAULT1 のみ)

「DEFAULT1」プリセットが選択されている場合、各入力に Routing ボタンが表示されます。これらのボタン (A ～ D) クリックして、表示される出力を選択します。各出力は現在選択された入力 (1 ～ 4) を使用します。



▼ Fade

ウインドウ出力と他のウインドウ出力に切り替える際に 1 秒間のフェード効果を加えます。チェックボックスをチェックすると、フェードエフェクトは有効になります。チェックボックスをクリアすると、フェードは無効となります。詳しくは 14 ページ「●フェード」を参照してください。

▼ Rotate

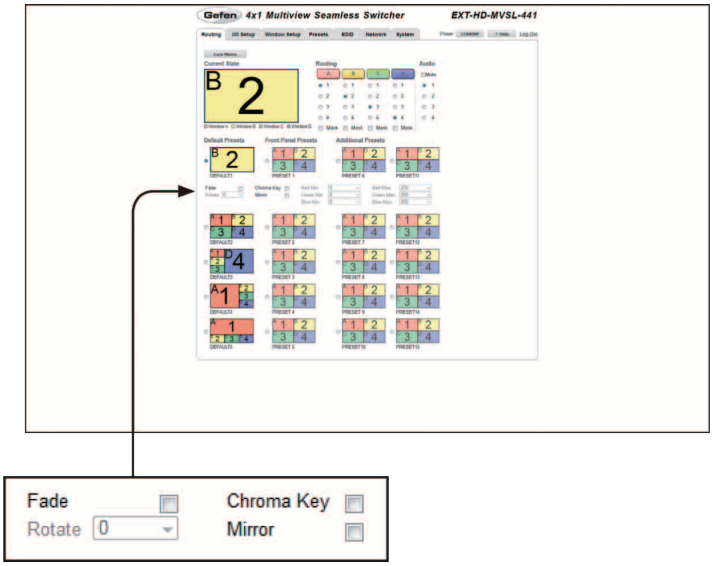
この機能は今後リリースのファームウェアに追加されます。

▼ Chroma Key

チェックボックスをチェックすると、ウインドウ出力「A」のクロマキーング機能が有効になります。チェックボックスをクリアすると、クロマキーング機能は無効となります。詳しくは 14 ページ「●クロマキー」を参照してください。

▼ Mirror

この機能はウインドウ出力の画面を水平に反転します (Y 軸を中心に 180˚ 回転) 詳しくは 15 ページ「●ミラー」を参照してください。



▼ Min(Red, Green, Blue)

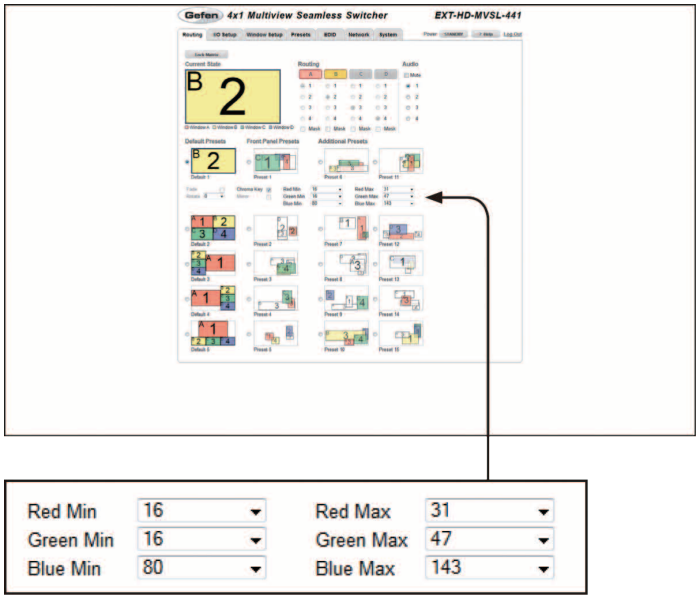
ドロップダウンリストをクリックして、クロマキー値の最小 RGB カラーを選択します。詳しくは 14 ページ「●クロマキー」」を参照してください。

▼ Max(Red, Green, Blue)

ドロップダウンリストをクリックして、クロマキー値の最大 RGB カラーを選択します。詳しくは「クロマキーの使用」を参照してください。

クロマキーが無効のとき、これらのドロップダウンリストにはアクセスできません。

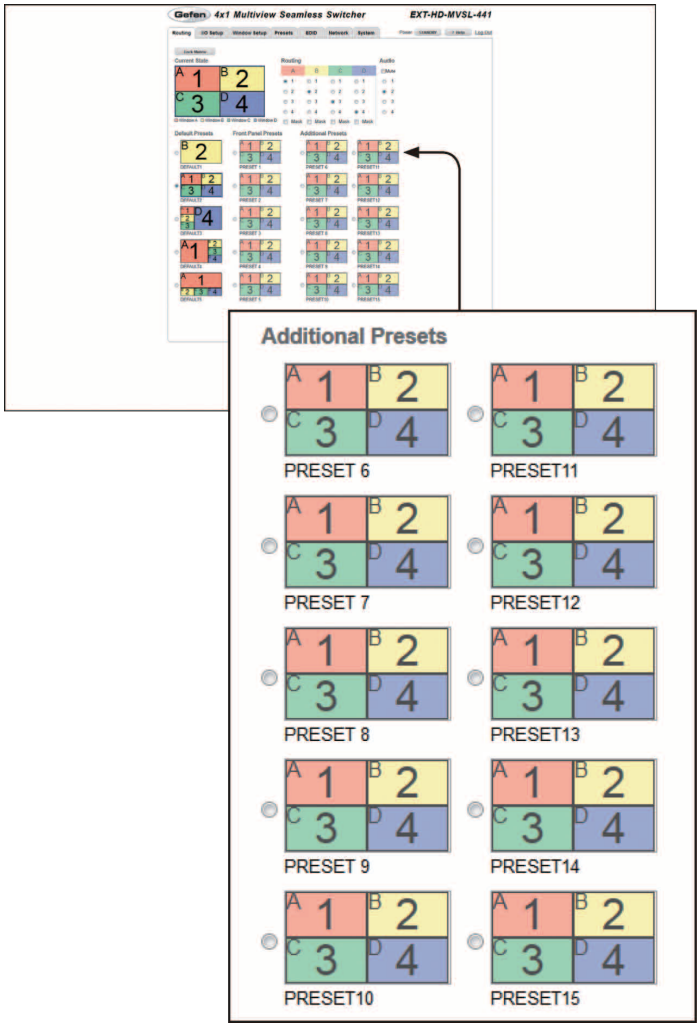
オプション (最小 / 最大値)	
0	128
16	144
32	160
48	176
64	192
80	208
96	224
112	240



▼ Additional Presets

ウェブインターフェース は、前面パネルボタンに加え、10 個の追加プリセットを提供します。ラジオボタンをクリックして、プリセットを選択します。

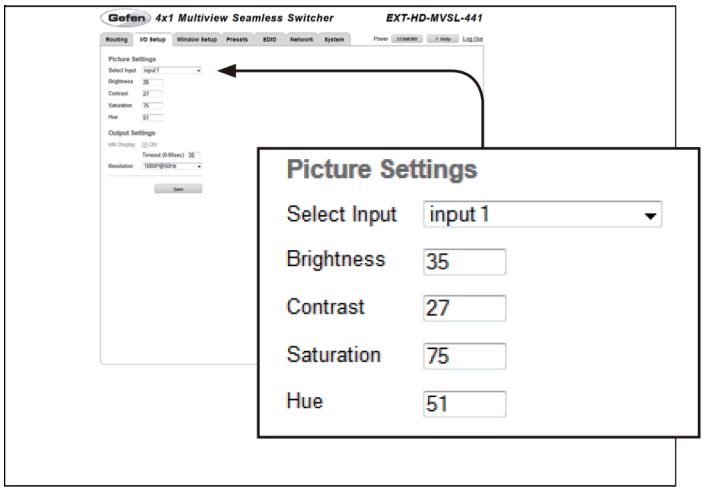
デフォルト設定では、これらのプリセットは「DEFAULT PRESET 2」と同じウインドウ構成を使用します。



▼ Select Input

ドロップダウンリストから入力を選択します。全ての入力に輝度、コントラスト、サチュレーションと色合いの調整が可能です。

オプション
Input 1
Input 2
Input 3
Input 4



▼ Brightness

フィールドに輝度値を入力します。

▼ Contrast

フィールドにコントラスト値を入力します。

▼ Saturation

フィールドにサチュレーション値を入力します。

▼ Hue

フィールドに色合い値を入力します。

▼ Info Display

この機能は今後リリースのファームウェアに追加されます。.

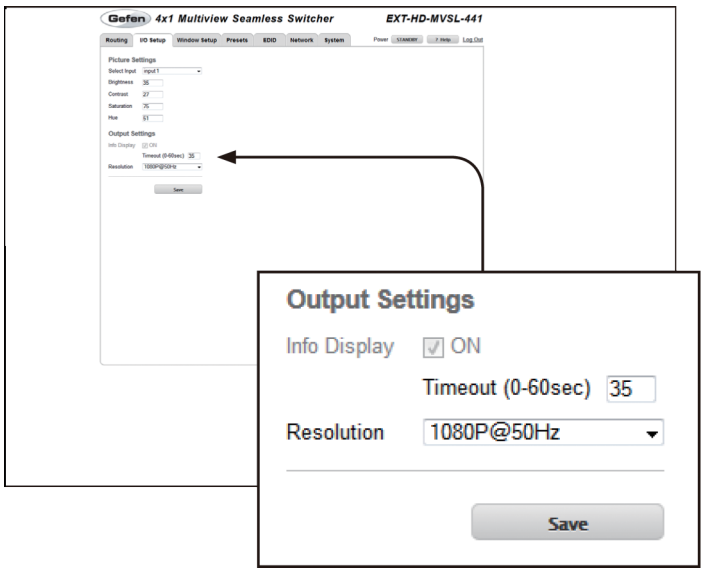
▼ Timeout(0 ～ 60 秒)

タイムアウト (継続時間) 値をフィールドに入力します。

▼ Resolution

ドロップダウンリストから出力の解像度を選択します。

オプション	
480p	1280 x 1024
576p	1366 x 768
720p @ 50 Hz	1440 x 900
720p @ 60 Hz	1600 x 900
1080p @ 24 Hz	1600 x 1200
1080p @ 50 Hz	1680 x 1050
1080p @ 60 Hz	1920 x 1200
1024 x 768	ネイティブ
1280 x 800	



▼ Save

現在の設定を保存します。

▼ Select Preset

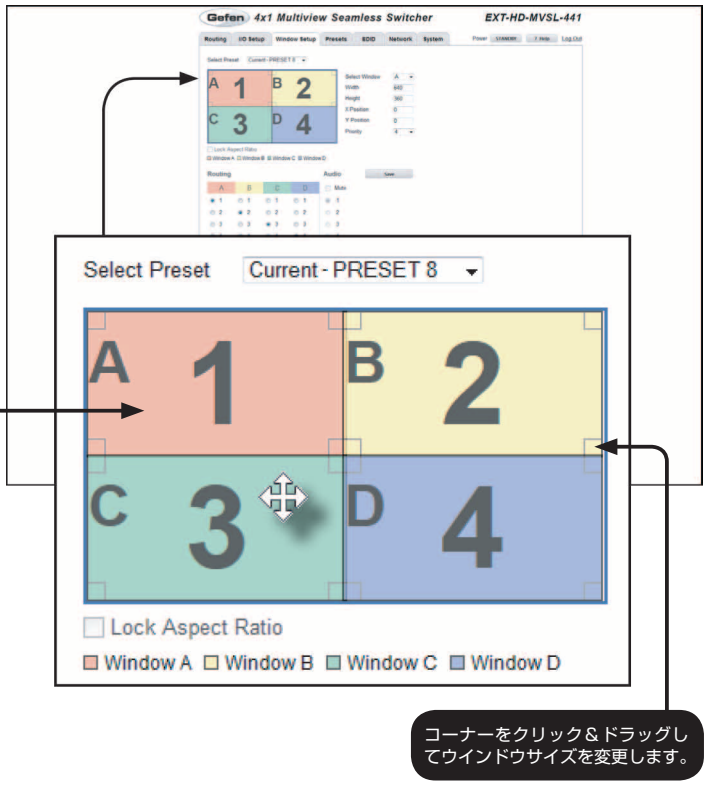
ドロップダウンリストをクリックして、プリセットを選択します。

▼ Lock Aspect Ratio

チェックボックスをチェックして、アスペクト比をロックします。ロック中にウインドウサイズを変更しても、ウインドウのアスペクト比は変わりません。チェックボックスをクリアすると、ロックは解除されます。

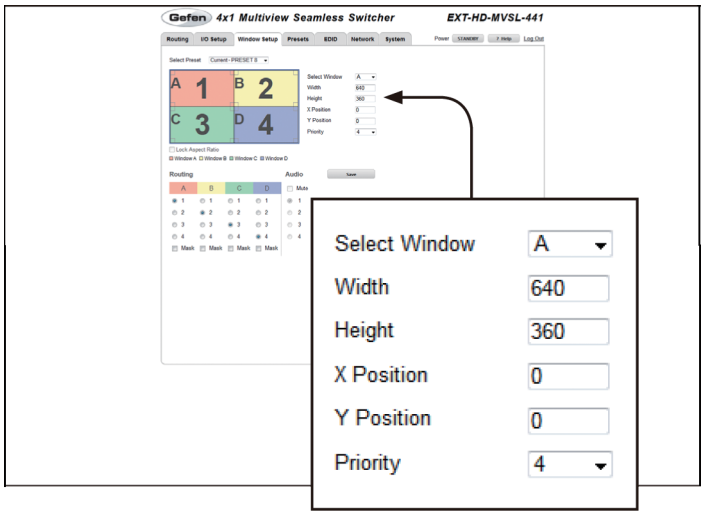
▼インタラクティブ・ワークスペース

マウスポインターをウインドウに移動すると「move」アイコンに変わります。ウインドウをクリックアンドドラッグして、ウインドウの配置を変更します。選択されたウインドウは **Selected Window** ドロップダウンリストに表示されます (次項参照)。また、ウインドウの角をクリックアンドドラッグして、ウインドウの高さと幅を自由に変更可能です。



▼ Select Window

ドロップダウンリストをクリックして、ウインドウを選択します。また、インタラクティブ・ワークスペースにてウインドウを選択することも可能です (全項参照)。



▼ Width

ウインドウの幅を表示します (単位 : ピクセル)。この値を変更すると、連携するインタラクティブ・ワークスペースのウインドウは自動的に更新されます。マウスを使用して、ウインドウサイズを変更した場合、この値も自動的に更新されます。

▼ Height

ウインドウの高さを表示します (単位 : ピクセル)。この値を変更すると、連携するインタラクティブ・ワークスペースのウインドウは自動的に更新されます。マウスを使用して、ウインドウサイズを変更した場合、この値も自動的に更新されます。

▼ X Position

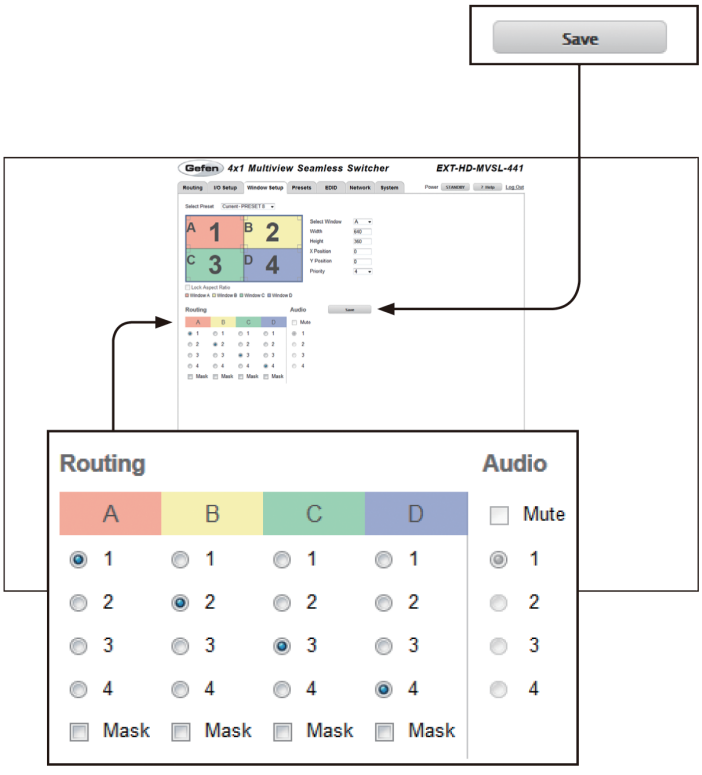
出力解像度に応じて、ウインドウの水平位置を表示します (単位 : ピクセル)。この値を変更すると、連携するインタラクティブ・ワークスペースのウインドウは自動的に更新されます。マウスを使用して、ウインドウサイズを変更した場合、この値も自動的に更新されます。

▼ Y Position

出力解像度に応じて、ウインドウの垂直位置を表示します (単位 : ピクセル)。この値を変更すると、連携するインタラクティブ・ワークスペースのウインドウは自動的に更新されます。マウスを使用して、ウインドウサイズを変更した場合、この値も自動的に更新されます。

▼ Priority

ドロップダウンリストをクリックして、ウインドウの順序を変更します。詳しくは 13 ページ「●ウインドウの順序」を参照してください。



▼ Save

現在の設定を保存します。現在の設定は **Select Preset** ドロップダウンリストに表示されるプリセットに保存されます。

▼ Routing

ラジオボタンをクリックして、入力を選択します。各コラムは出力を表します。

▼ Mask

チェックボックスをチェックすると、選択された出力はマスキングされます。チェックボックスをクリアすると、マスキング機能は解除となります。

▼ Audio

ラジオボタンをクリックして、オーディオソースとして使用する入力を選択します。

▼ Mute

チェックボックスをチェックして、入力をミュートします。チェックボックスをクリアすると、ミュートは解除されます。

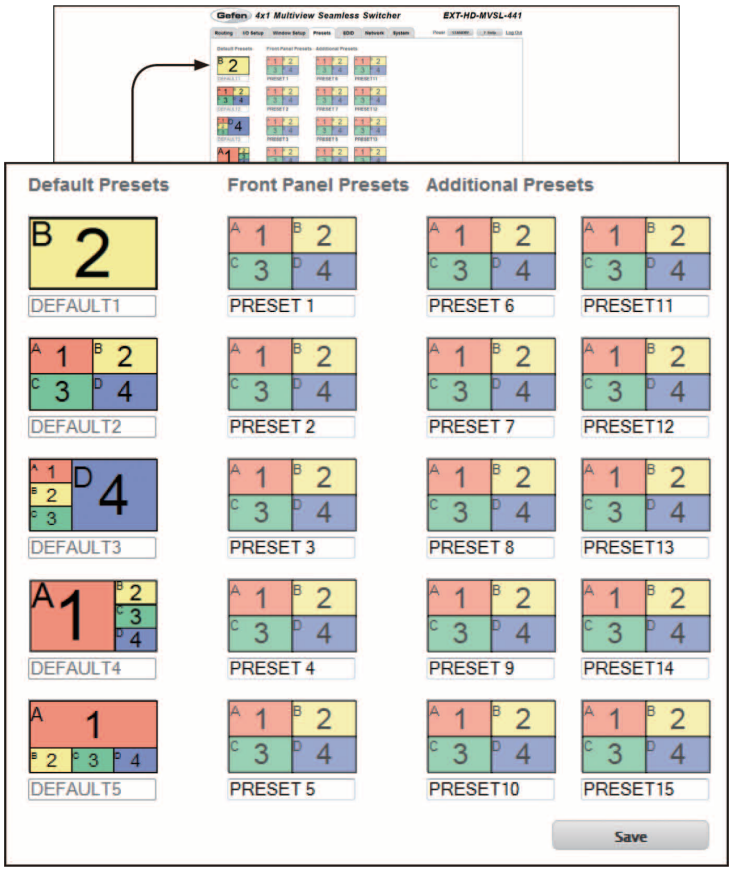
● Presets

▼ Preset Name

これらのフィールドにプリセット名を入力します。

▼ Save

変更したプリセット名を保存します。



▼ Browse...

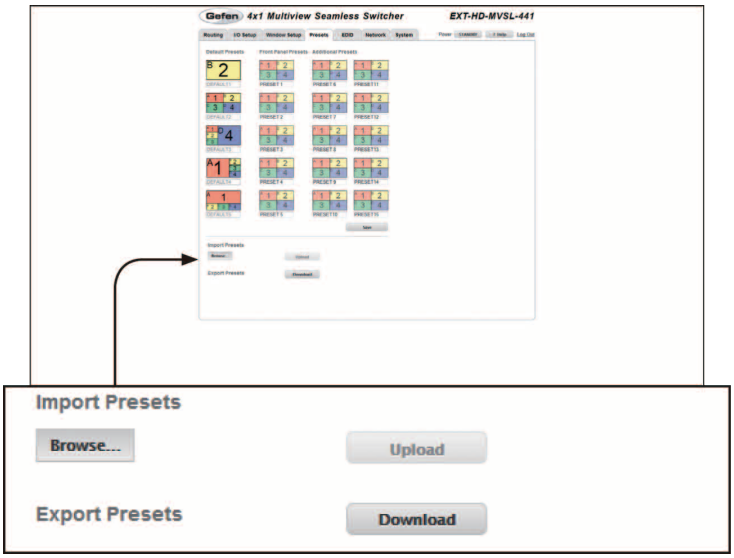
プリセットファイルを選択します。

▼ Upload

プリセットファイルを本体にアップロードします。

▼ Download

現在のプリセット構成とプリセット名をファイルに保存します。



● EDID ⇒ Assign

▼ Lock EDID

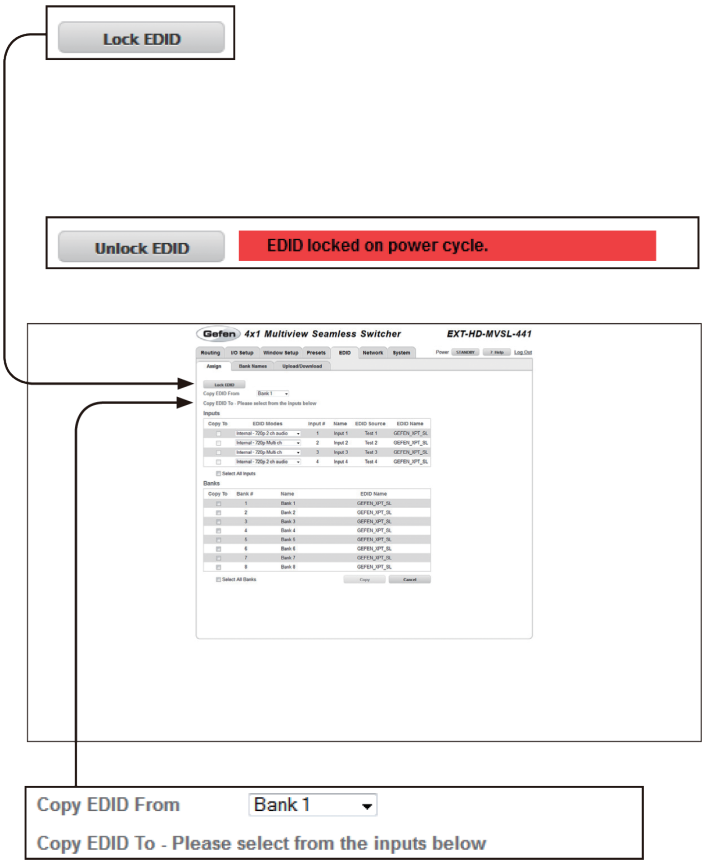
本体の電源を入れた後の自動 EDID 読込みを無効にして、EDID をローカル EDID に固定します。

Lock EDID ボタンが有効の場合、赤いメッセージバーに「EDID locked on power cycle」が表示されます。本体を再起動すると、ローカル EDID 情報に固定(ロック)されます。**Unlock EDID** ボタンをクリックして、Lock EDID 機能を解除します。

▼ Copy EDID From

ドロップダウンリストから EDID を選択します。EDID は出力からコピーされます。もしくは EDID バンクから選択します。

オプション
BANK 1 ... BANK 8
A - OUPUT 1



▼ Copy To

チェックボックスをチェックして、入力を選択 / 解除します。

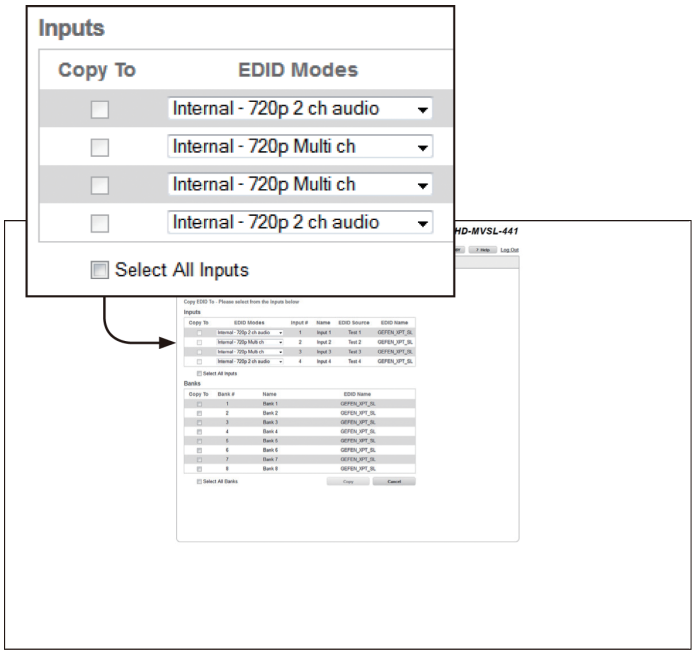
▼ EDID Modes

ドロップダウンリストから EDID モードを選択します。

オプション
Internal - 720p 2 ch Audio
Internal - 720p Multi ch
Internal - 1080p 2 ch Audio
Internal - 1080p Multi ch
External - Output
Custom - User

▼ Select All Inputs

チェックボックスをチェックすると、全入力が選択されます。チェックボックスをクリアすると、全入力選択は解除されます。



▼ Input #

入力番号を表します。

▼ Name

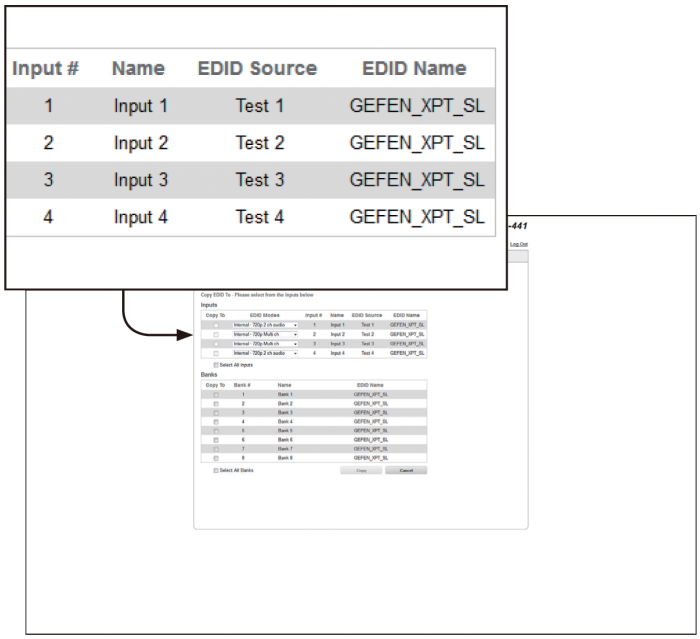
入力名を表します。

▼ EDID Source

現在使用している EDID ソース機器を表します。

▼ EDID Name

EDID 名を表します。



▼ Copy To

チェックボックスをチェックして、EDID のコピー先を選択します。チェックボックスをクリアすると、バンクの選択は解除されます。

▼ Bank #

バンク番号を表します。.

▼ Name

バンク名を表します。

▼ Select All Banks

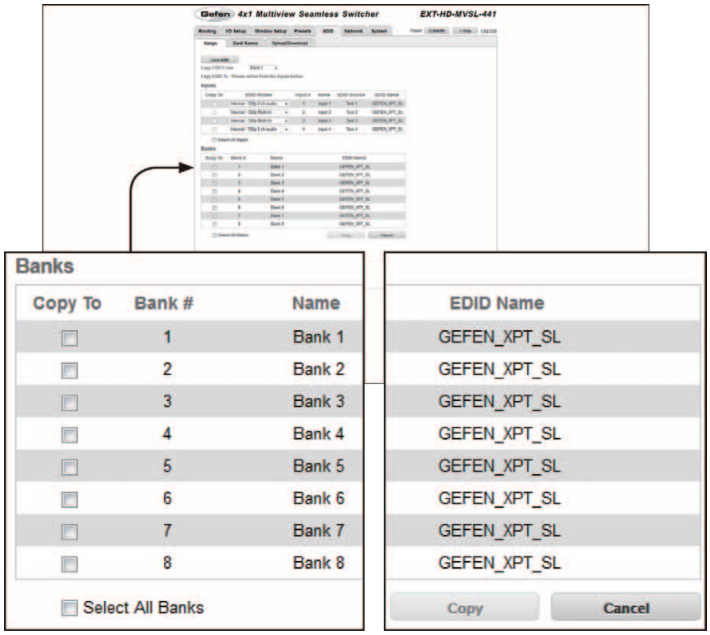
チェックボックスをチェックすると、全バンクが選択されます。チェックボックスをクリアすると、全バンクの選択が解除されます。

▼ Copy

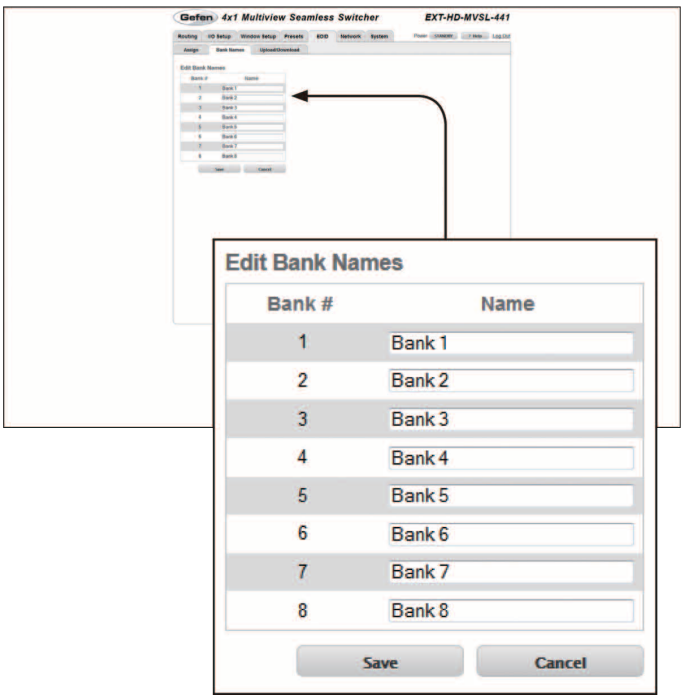
コピー作業を実行します。

▼ Cancel

全てのチェックボックスのチェックを解除します。



● EDID ⇒ Bank Name



▼ Bank

EDID バンク番号を表します。

▼ Name

フィールドに EDID バンク名を入力します。

▼ Save

現在の EDID バンク名を保存します。

▼ Cancel

直前のバンク名をリストアします (バンク名の変更を行った場合)。

● EDID ⇒ Upload/Download

▼ Browse...

アップロードする EDID ファイルを選択します。

▼ Select Bank Location

ドロップダウンリストをクリックして、EDID がアップロードされるバンクを選択します。

オプション
Bank 1 ... Bank 8

▼ Upload

EDID を指定されたバンクにアップロードします。

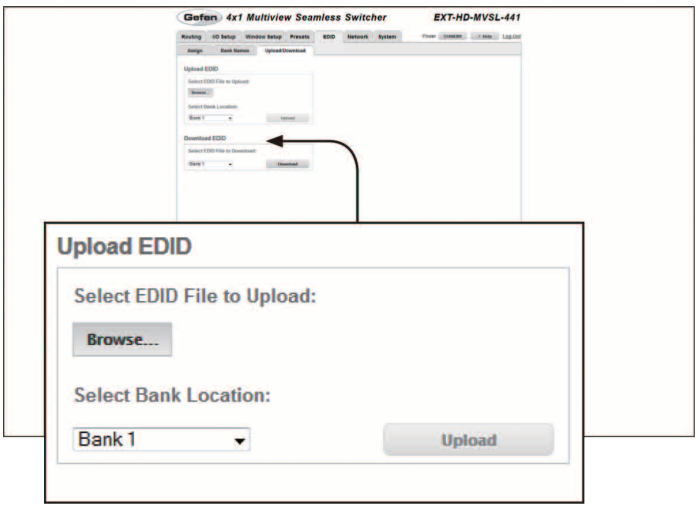
▼ Select EDID File to Download

ファイルとして保存する EDID を選択します。なお、EDID ファイルはバイナリーファイル (.bin) として保存されます。

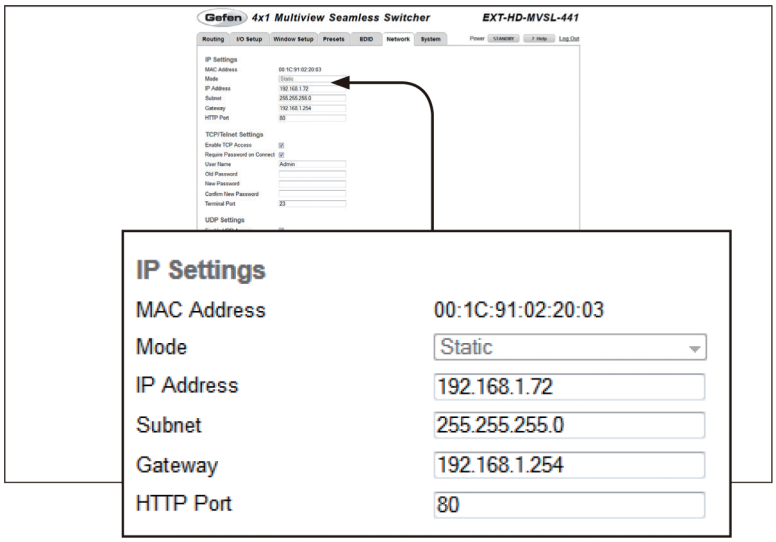
オプション
Bank 1 ... Bank 8
A -
1 - ... 4 -

▼ Download

選択された EDID をファイルにダウンロードします。



● Network



▼ MAC Address

本体の MAC アドレスを表します。なお、MAC アドレスは変更できません。

▼ Mode

ネットワークモードを設定します。

オプション
Static
DHCP

▼ IP Address

フィールドに本体の IP アドレスを入力します。なお、このオプションは、ネットワークモードが「Static」に設定された場合のみ有効です。

▼ Subnet

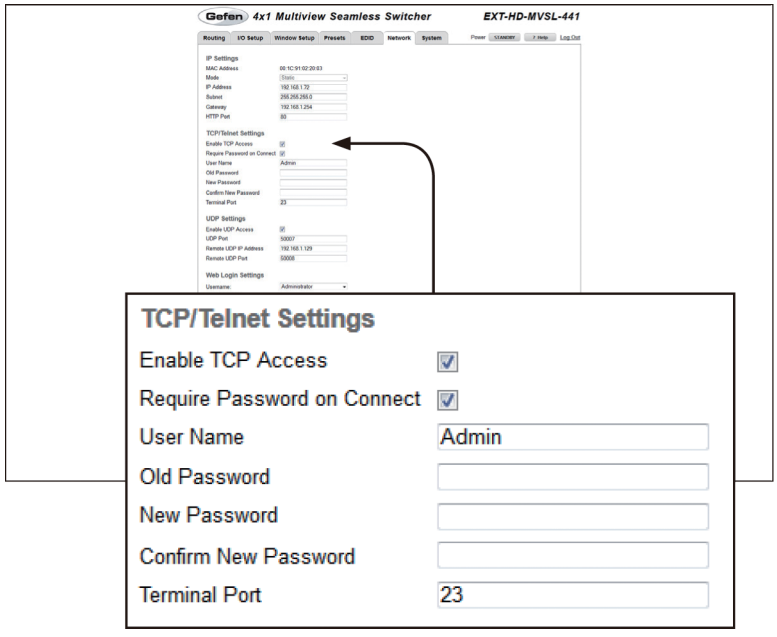
フィールドに本体のサブネットマスクを入力します。なお、このオプションは、ネットワークモードが「Static」に設定された場合のみ有効です。

▼ Gateway

フィールドに本体のゲートウェイ (ルーター) アドレスを入力します。なお、このオプションは、ネットワークモードが「Static」に設定された場合のみ有効です。

▼ HTTP

フィールドに HTTP リスニングポートを入力します。



▼ Enable TCP Access

チェックボックスをチェックすると、TCP にアクセス可能になります。チェックボックスをクリアすると、TCP へのアクセスは無効になります。

▼ Require Password on Connect

チェックボックスをチェックすると、Telnet セッションの開始時にパスワードを要求するように設定します。チェックボックスをクリアすると、パスワードの要求は解除されます。

▼ User Name

フィールドにログイン用のユーザー名を入力します。

▼ Old Password

フィールドに現在のパスワードを入力します。

▼ New Password

フィールドに新しいパスワードを入力します。

▼ Confirm Password

フィールドに新しいパスワードを再入力します。

▼ Terminal Port

フィールドに Telnet リスニングポートを入力します。

▼ Enable UDP Access

チェックボックスをチェックすると、UDP にアクセス可能になります。チェックボックスをクリアすると、UDP へのアクセスは無効になります。

▼ UDP Port

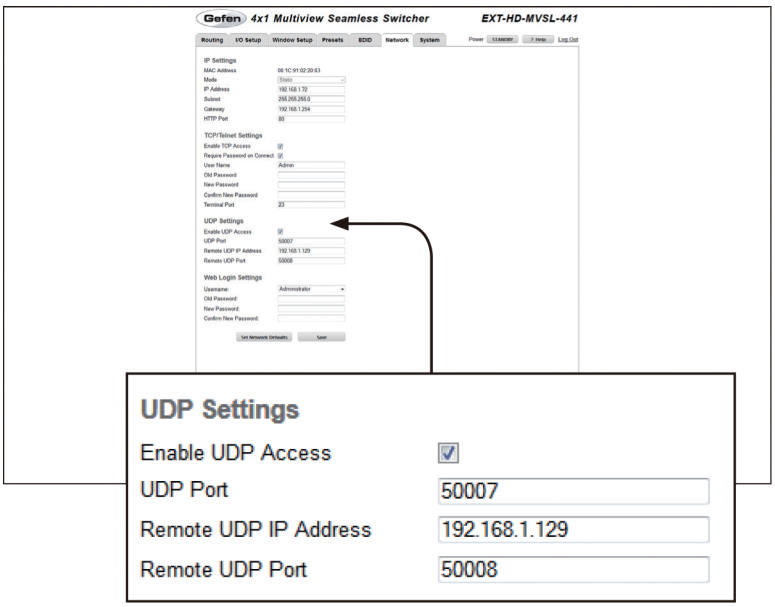
フィールドに UDP リスニングポートを入力します。

▼ Destination UDP IP Adress

フィールドにリモート UDP IP アドレスを入力します。

▼ Destination UDP Port

フィールドにリモート UDP リスニングポートを入力します。



▼ Username

ドロップダウンリストをクリックして、ユーザー名を選択します。なお、選択されたユーザーのパスワードは変更可能です。

▼ Old Password

フィールドに現在のパスワードを入力します。

▼ New Password

フィールドに新しいパスワードを入力します。

▼ Confirm Password

フィールドに新しいパスワードを再入力します。

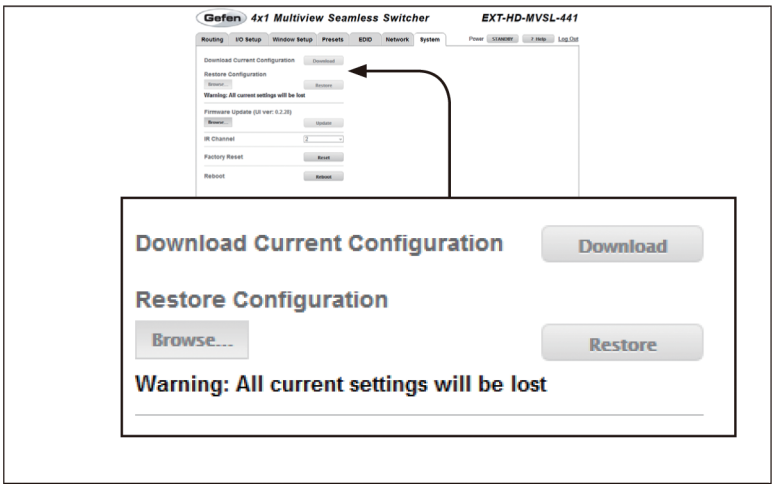
▼ Set Network Defaults

ネットワーク設定を工場出荷時のデフォルト設定に戻します。

▼ Save

変更を保存します。

● System



▼ Download

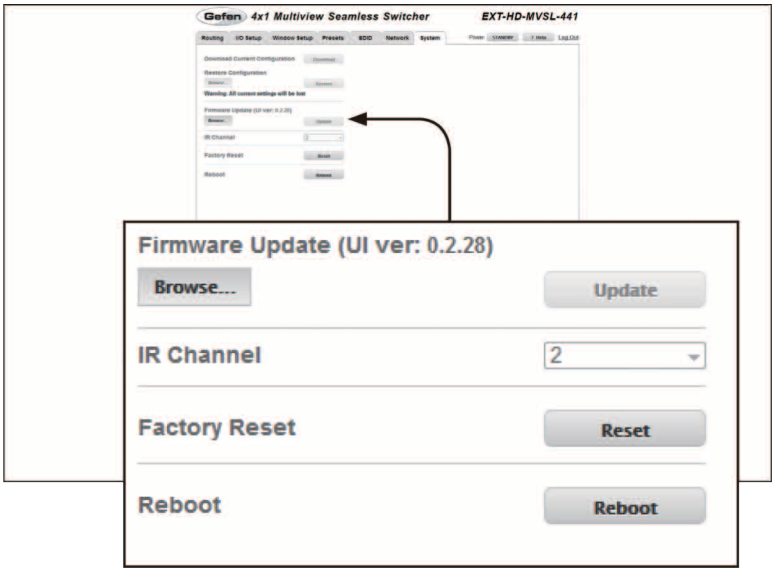
今後のファームウェアリリースで追加される機能です。

▼ Browse...

今後のファームウェアリリースで追加される機能です。

▼ Restore

今後のファームウェアリリースで追加される機能です。



▼ Browse...

ボタンをクリックして、アップロードするファームウェアファイルを選択します。ファームウェアのアップグレードについて、詳しくは 51 ページ「■ファームウェアのアップグレード」を参照してください。

▼ Update

ファームウェアファイルを選択した後、ボタンをクリックすると、アップデート作業が開始します。

▼ IR Channel

今後のファームウェアリリースで追加される機能です。本体の IR チャンネルを「0」に設定します。IR リモコンは本体と同じチャンネルに設定する必要があります。詳しくは 6 ページ「●チャンネル設定」を参照してください。.

▼ Reset

ボタンをクリックして、本体を工場出荷時のデフォルト設定に戻します。なお、TCP/IP 設定はストアされます。

▼ Reboot

ボタンをクリックして、本体を再起動します。

◆付録

■ファームウェアのアップグレード

重要 : ファームウェアアップグレード中はスイッチャーの電源を切ったり、電源コードを抜かないでください。

① Gefen ウェブサイトからファームウェアをダウンロードします。

② ZIP ファイルを解凍し、ファームウェアファイルを取り出します。

③ HDMI マルチビュー 4x1 シームレススイッチャーの電源を入れます。

※イーサーネットケーブルを使用して、本体とウェブインターフェース を起動するコンピュータを接続します。

※アップグレード作業中はケーブルや延長器を取り外す必要はありません。

④ ウェブインターフェース の「System」タブをクリックして、「Firmware Update」セッションの下部にある「Browse...」ボタンをクリックします。

⑤ ファームウェア ファイルを選択して、「Update」ボタンをクリックします。

⑥ 現在のファームウェアは上書きされる確認メッセージが表示されます。ダイアログボックスの「OK」ボタンをクリックすると、ファームウェアのアップロードを開始します。

⑦ ファームウェアアップグレード作業を開始します。作業は数分間がかかります。RS-232 インターフェイスを使用して、アップグレード作業の進捗を確認できます。

⑧ ファームウェアがアップグレードされると、HDMI マルチビュー 4x1 シームレススイッチャーは自動的にリブートします。

⑨ ファームウェアアップグレード作業は完了します。

■仕様

最大対応解像度	1080p フル HD、1920 x 1200(WUXGA)
最大ピクセルクロック	225 MHz
プリセット選択ボタン	プッシュボタン (青バックライト付) × 10
ウインドウ選択ボタン	プッシュボタン (青バックライト付) × 4
メニューボタン	プッシュボタン (青バックライト付) × 1
メニュー操作ボタン	プッシュボタン (青バックライト付) × 6
オン / スタンバイ ボタン	プッシュボタン (青バックライト付) × 1
スタンバイインジケーター	LED(赤) × 1
入力インジケーター	LED(青) × 20
ビデオ入力端子	HDMI Type-A(19 ピン、メス、MonoLOK) × 4
ビデオ出力端子	HDMI Type-A(19 ピン、メス、MonoLOK) × 4
RS-232 端子	D-Sub9 ピン (メス) × 1
IP コントロール端子	RJ-45 × 1
USB 端子	Mini-B × 1
IR 拡張端子	3.5mm ミニステレオミニ× 1
電源	DC12V、最大 24W(ロック式)
寸法・質量	W430mm × H42mm × D200mm、3.2 kg

●この製品を安全にお使いいただくために、設置・運用には十分な安全対策を行ってください。
●この取扱説明書に記載されている商品名、会社名等は各社の登録商標または商標です。

HIBINO
ヒビノインターサウンド株式会社
〒108-0075 東京都港区港南3-5-12 TEL: 03-5783-3880 FAX: 03-5783-3881
E-mail: info@hibino-intersound.co.jp http://www.hibino-intersound.co.jp/